「平成 30 年度　伊勢湾流域圏一斉モニタリング」
確定版

平成 31 年３月

伊勢湾再生推進会議

目次

1. はじめに 1

2. 「平成 30 年度　伊勢湾流域圏一斉モニタリング」概要 2

2.1　モニタリング期間 2
2.2　モニタリングの種類 2
2.3　モニタリング参加者 2
2.4　水質調査地点 4
2.5　モニタリング実施時の気象・海象状況 7

3. モニタリング調査結果 12

3.1　分析による水質調査 12
3.2　簡易水質テスト結果 21
3.3　一斉モニタリングの状況 29
3.4　ごみ調査の状況 72
3.5　水生生物調査結果 77

4. 感想等 78

5. 一斉モニタリング経年調査結果のまとめ 86

1. はじめに

本年度も多くの方々に「伊勢湾流域圏一斉モニタリング」にご協力頂きまして、ありがとうございました。

伊勢湾再生推進会議では、「人と森・川・海の連携により健全で活力ある伊勢湾を再生し、次世代に継承する」ことをスローガンとした伊勢湾再生行動計画に基づき、伊勢湾再生に取り組んでいます。

伊勢湾流域圏においては、より良い水環境のもと、多様な生物が生息・生育できる“健全な伊勢湾”、産業物流拠点としての優れた機能を活かしながら、人々が集まり、安全で憩いや安らぎを感じられる“活力ある伊勢湾”を再生するため、沿岸域だけでなく、広く流域圏の“人と森・川・海”が連携して伊勢湾再生に取り組んでいくとともに、これらの取り組みを継承していくことが大切だと考えています。

この度は、その一環として、皆様と流域圏の自治体などが、海の水質が悪くなりやすい夏の時期に一斉モニタリングを行いました。一斉モニタリングにより、伊勢湾流域圏全体の水環境を知ることができます。

この「伊勢湾流域圏一斉モニタリング」を通じて、市民の皆様に、伊勢湾にもっと関心を持っていただき、伊勢湾再生のさらなる推進につなげてまいりたいと思います。

今回は確定版として分析による水質調査、簡易水質テストによる調査、ゴミ調査、水生生物調査の結果についてとりまとめました。

図 1.1 伊勢湾流域圏

注）伊勢湾流域圏とは、伊勢湾と伊勢湾に流れ込む河川の集水域となっている地域のことです。
（上の図の水色および緑色で示した部分）

・伊勢湾再生推進会議構成団体：国土交通省中部地方整備局・海上保安庁第四管区海上保安本部・内閣府地方創生推進事務局・農林水産省東海農政局・林野庁中部森林管理局・水産庁漁港漁場整備部・経済産業省中部経済産業局・環境省中部地方環境事務所・岐阜県・愛知県・三重県・名古屋市・名古屋港管理組合・四日市港管理組合

2. 「平成 30 年度　伊勢湾流域圏一斉モニタリング」概要

2.1　モニタリング期間

平成 30 年 8 月 1 日（水）を統一実施日とし、平成 30 年 7 月 25 日（水）～8 月 8 日（水）の期間で実施しました。

2.2　モニタリングの種類

一斉モニタリングでは、主に自治体が参加した「分析による水質調査」、主に市民の方々が参加した「簡易水質テスト」、「ゴミ調査」、「生物調査」を実施しました。

① 分析による水質調査　（調査結果 p.12～）
② 簡易水質テスト　（調査結果 p.21～）
③ 一斉モニタリングの状況（調査結果 p.29～）
④ ゴミ調査　（調査結果 p.72～）
⑤ 水生生物調査　（調査結果 p.77～）

2.3　モニタリング参加者

今年度も伊勢湾再生に関心をお持ちの多くの団体・機関から参加いただきました。

表 2.1 参加団体数の推移

年度	分析による水質調査	簡易水質テスト・ゴミ調査・生物調査	
		団体数	参加人数
平成 30 年度	22	39	612
平成 29 年度	25	48	945
平成 28 年度	17	51	970
平成 27 年度	31	71	—
平成 26 年度	15	76	675
平成 25 年度	29	83	—
平成 24 年度	46	59	—
平成 23 年度	42	49	—
平成 22 年度	51	67	—
平成 21 年度	35	60	—

※参加人数は記載ありのものだけカウント

◆ 分析による水質調査

【行政機関】

愛知県建設部下水道課（一宮建設事務所管内、尾張建設事務所管内、海部建設事務所管内、知多建設事務所管内、知立建設事務所管内、西三河建設事務所管内、東三河建設事務所管内）、木曽川上流河川事務所、岐阜県大垣市(生活環境部環境衛生課)、岐阜県可児市（市民部環境課）、岐阜県環境生活部、岐阜市自然環境課、岐阜県神戸町、岐阜県瑞浪市、岐阜県美濃加茂市(環境課)、庄内川河川事務所、第四管区海上保安本部、豊橋河川事務所、名古屋市環境局地域環境対策課、三重河川国道事務所、三重県津市（環境保全課）、四日市港管理組合

◆ 簡易水質テスト、ゴミ調査、生物調査

【行政機関】

愛知県岡崎市、伊勢湾再生海域検討会、岐阜県岐南町、岐阜県高山市、岐阜県多治見市、第四管区海上保安本部

【市民団体・NPO 法人・個人】

「あいちの海」グリーンマップ、イーツーワン（環境 21 期会）、伊勢湾流域圏再生ネットワーク（伊勢湾ネット）、内山川ホタルを守る会、NPO 法人伊勢湾フォーラム、扇川を愛する緑の会、大井まちづくり協議会 スナメリの海、小里川ダム里山教室、金山町生活学校、可児市めだかの楽校、亀岡社中、岐阜市生活学校、公益財団法人　河川財団、鯱城・堀川と生活を考える会、清水川を愛する会、庄内川に松並木つくり隊、庄内川・川ナビ歩こう会、高松干潟を守ろう会、引山学区連絡協議会、別所団地西鹿乗川美化クラブ、みどりのまちづくりグループ、宮川流域ルネッサンス協議会、やすらぎくんネット、矢田・庄内川をきれいにする会、養老町生活と環境を考える会、四つ葉会、レッ津！夢みなとプラン推進協議会、論田川を美しくする会、渡し場かもめ会

【企業】

小塩通信株式会社、東芝プラントシステム株式会社、名古屋みなと建設工事安全連絡協議会

【学校】

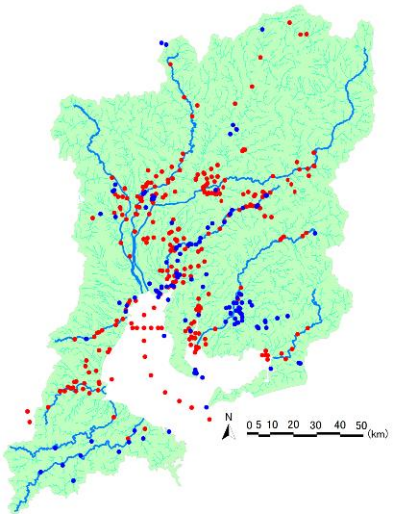
四日市市立山手中学校

2.4　水質調査地点

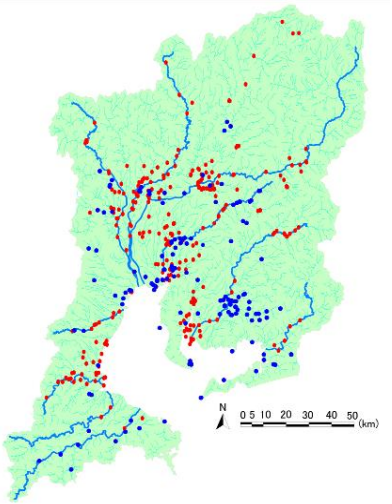
平成 29 年度のモニタリング調査地点数は、分析による水質調査が 325 地点、簡易水質調査が 160 地点でした。

表 2.2　一斉モニタリング地点数の推移

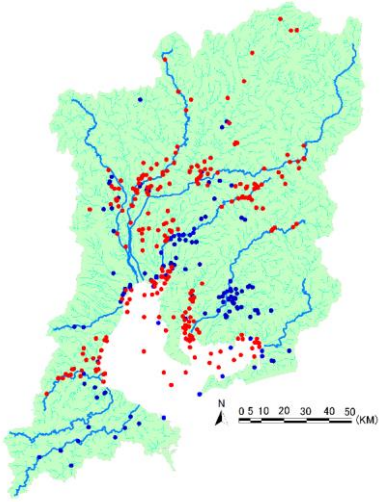
	分析による水質調査			簡易水質調査		
	陸域	海域	計	陸域	海域	計
平成 30 年度	266	61	327	109	22	131
平成 29 年度	285	40	325	128	32	160
平成 28 年度	215	164	379	160	31	191
平成 27 年度	422	77	499	225	27	252
平成 26 年度	259	80	339	132	32	164
平成 25 年度	328	125	453	159	33	192
平成 24 年度	450	223	673	357	32	389
平成 23 年度	483	109	592	119	34	153
平成 22 年度	569	234	803	189	39	228
平成 21 年度	264	69	333	78	28	106



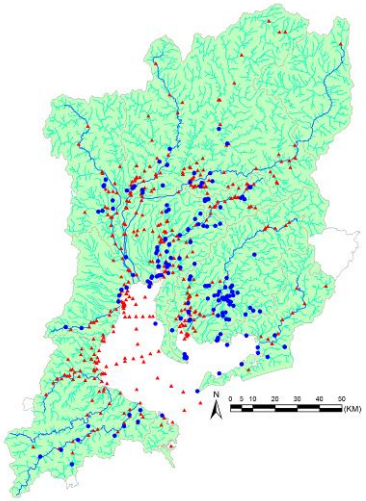
（平成 30 年度ﾓﾆﾀﾘﾝｸﾞ地点）



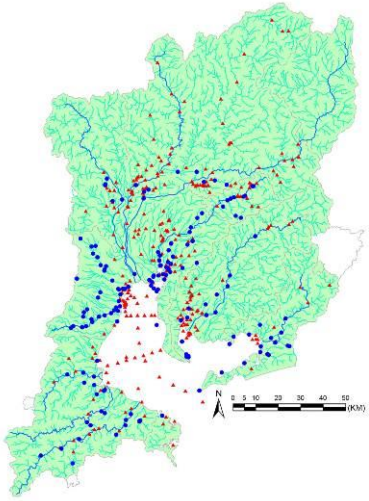
（平成 29 年度ﾓﾆﾀﾘﾝｸﾞ地点）



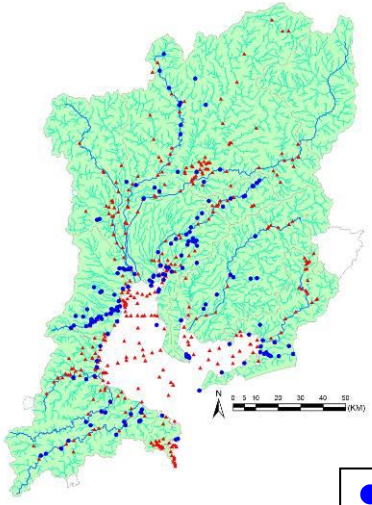
（平成 28 年度ﾓﾆﾀﾘﾝｸﾞ地点）



（平成 27 年度ﾓﾆﾀﾘﾝｸﾞ地点）



（平成 26 年度ﾓﾆﾀﾘﾝｸﾞ地点）

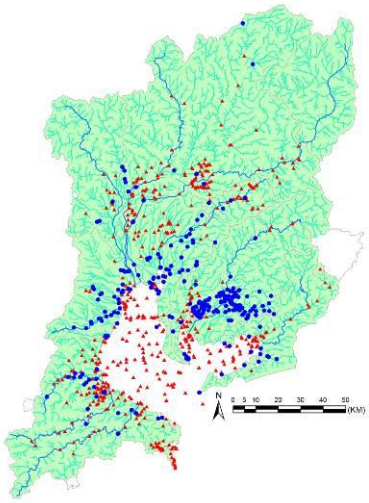


（平成 25 年度ﾓﾆﾀﾘﾝｸﾞ地点）

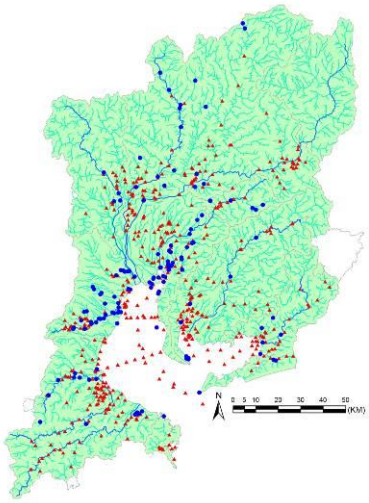
● 簡易調査地点
● 分析調査地点

図 2.1 平成 25 年度～平成 30 年度一斉モニタリング地点

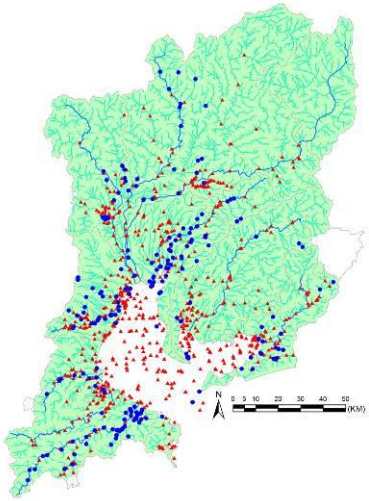
※海域では、同じ場所で水深を変えて測っているところもあります。



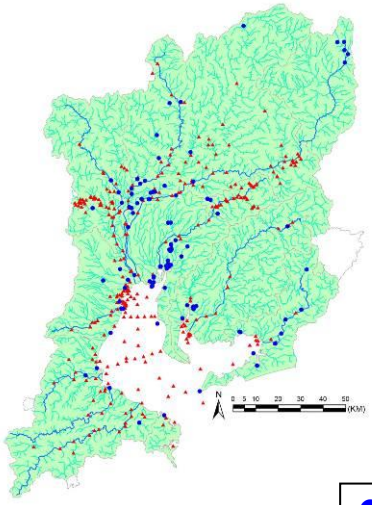
（平成 24 年度ﾓﾆﾀﾘﾝｸﾞ地点）



（平成 23 年度ﾓﾆﾀﾘﾝｸﾞ地点）



（平成 22 年度ﾓﾆﾀﾘﾝｸﾞ地点）



（平成 21 年度ﾓﾆﾀﾘﾝｸﾞ地点）

● 簡易調査地点
● 分析調査地点

図 2.2 平成 21 年度～平成 24 年度一斉モニタリング地点

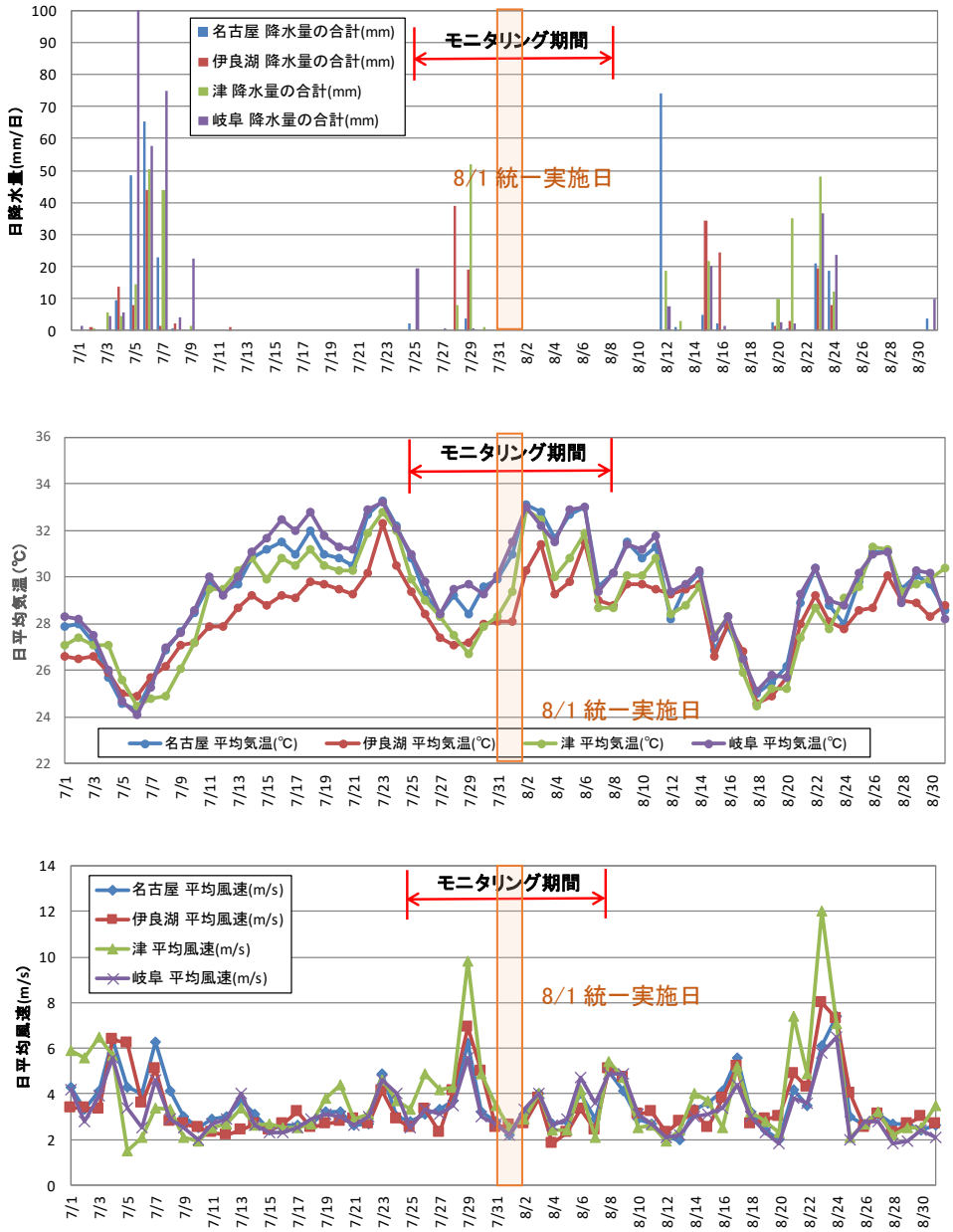
※海域では、同じ場所で水深を変えて測っているところもあります。

2.5　モニタリング実施時の気象・海象状況

一斉モニタリング期間（平成 30 年 7 月 25 日～8 月 8 日）を含む気象・海象状況を図 2.3、図 2.4 に示します。

一斉モニタリング期間中、7/28、7/29 に大きな降水が生じました。一斉モニタリング期間中で最も大きな降水は 7/29 で、以降の一斉モニタリングの水質等に影響した可能性があります。一斉モニタリング期間中の平均気温は 30℃程度で、最高の平均気温は 8/2 の名古屋で 33.1℃でした。

日平均風速は、7/29 に 3 地点とも高い平均風速となっています。最大の平均風速は、7/29 の津で 9.8m でした。

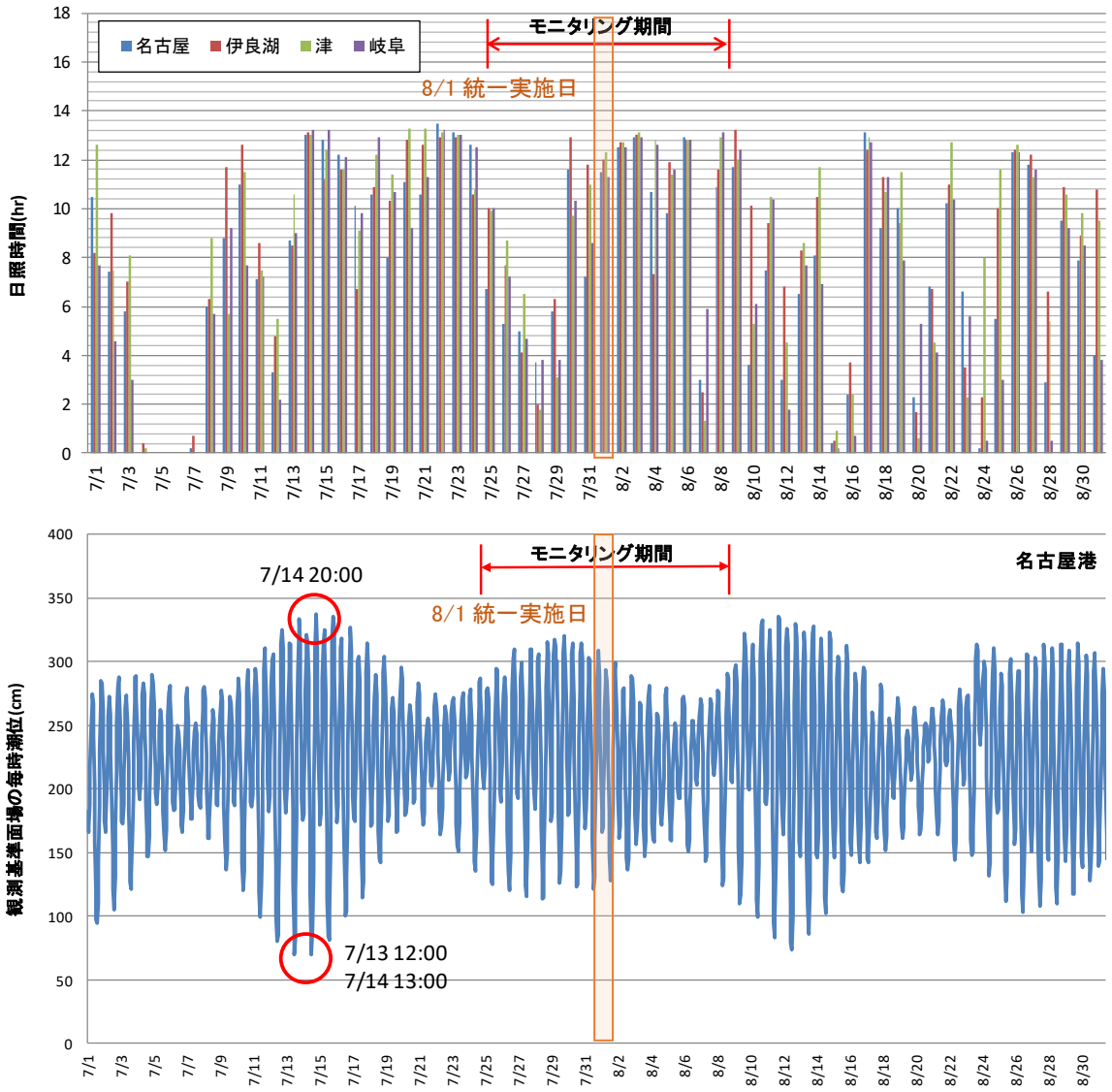


気象庁のデータから作成

図 2.3　一斉モニタリング時の気象・海象状況①（降水量・気温・風速）

日照時間の平均は 9.0 時間程度でした。日照時間の最大は、8/3 の津で 13.1 時間、最少は 8/7 の津で 1.3 時間でした。

名古屋港の観測潮位について、7 月～8 月の最低潮位は 7 月 13 日の 12 時と 7 月 14 日の 13 時に 70cm、最高潮位は、7 月 14 日の 20 時に 337cm となっています。

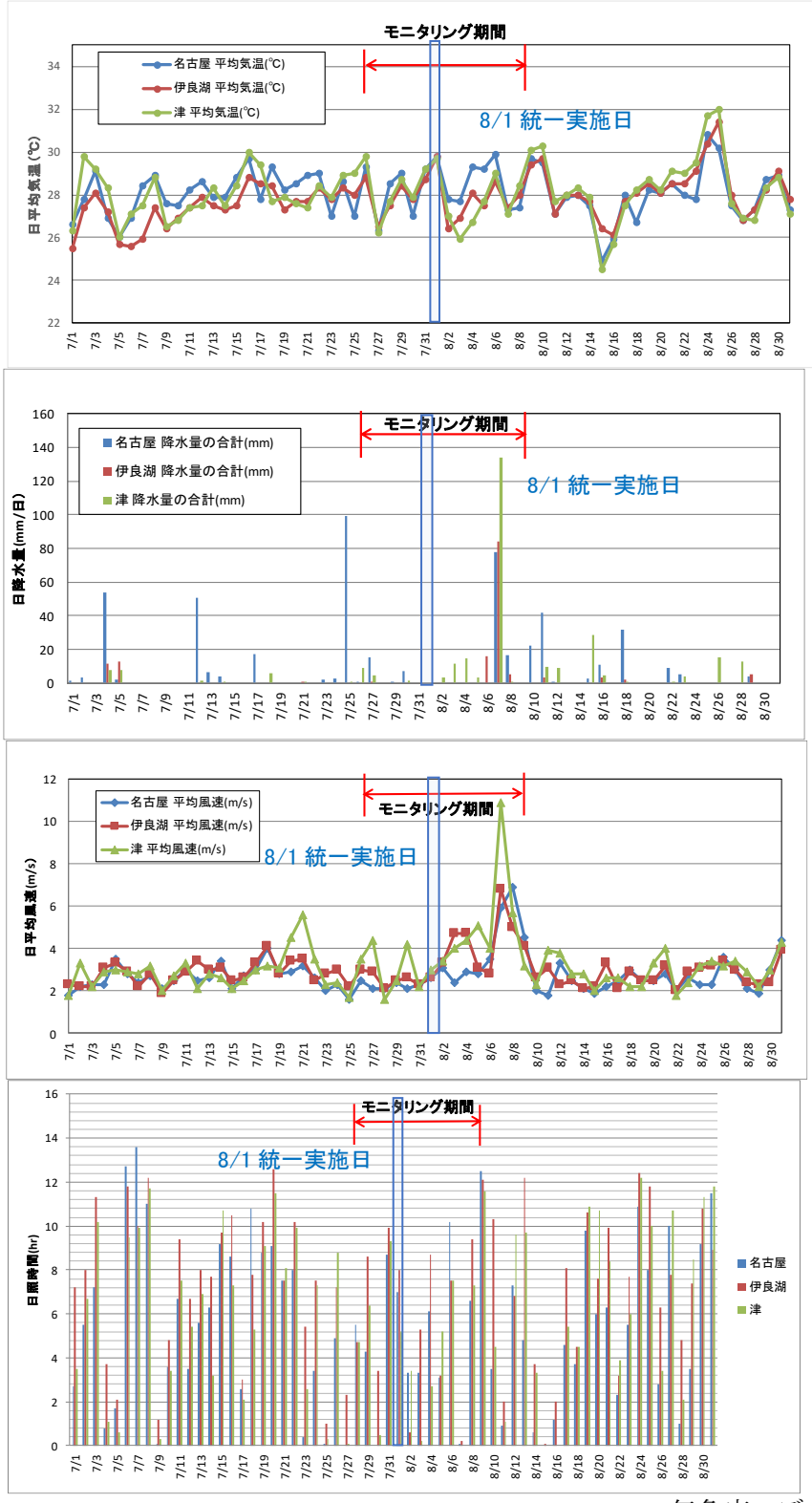


気象庁のデータから作成

図 2.4 一斉モニタリング時の気象・海象状況②（日照時間・潮位）

【参考】昨年の気象状況

平成 29 年度の一斉モニタリング実施期間は、概ね平均気温が 30℃以下でした。また、今年度の一斉モニタリング期間は雨量が少なかったのに対して、平成 29 年度には期間の後半の 8/7 に大きな降雨がありました。

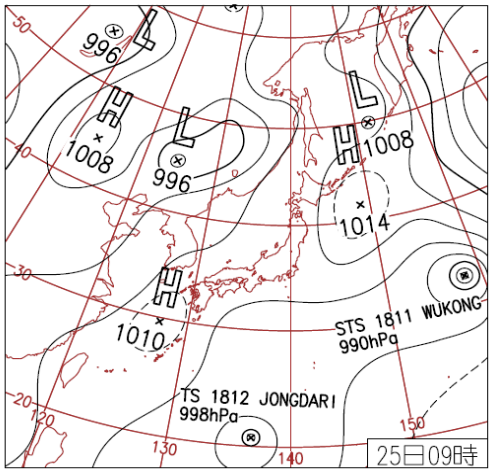


気象庁のデータから作成

図 2.5 一斉モニタリング時の気象・海象状況②（日照時間・潮位）

一斉モニタリング中の主な天気図を図 2.6 に示します。7 月下旬から 8 月上旬にかけて、全国的に猛暑日が続きました。一方で局地的な大雨や台風が多数発生し土砂災害が発生するなど、全国的に天気の変動が大きい年でした。

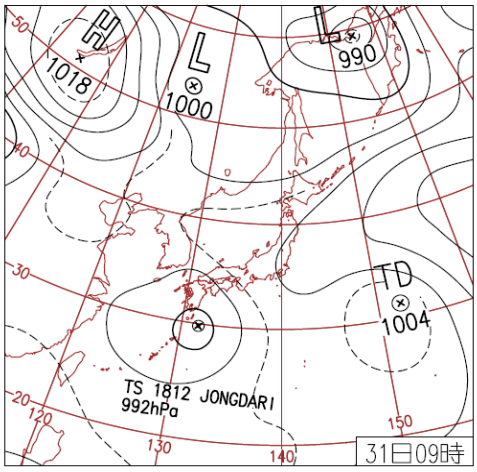
7 月 25 日(水):厳しい暑さ



25日(水)猛暑いつまで？

広く高気圧に覆われ、全国的に晴れや曇り。午後には東海などで局地的な雷雨。山口の最高気温38.8℃は、1966年の統計開始以来1位。西日本～東海で厳しい暑さ続く。

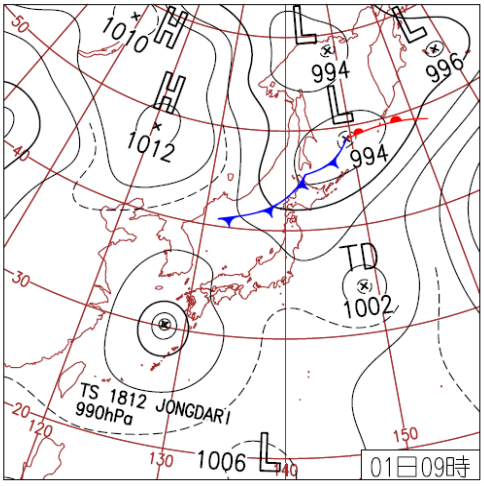
7 月 31(火):台風 12 号



31日(火)台風第12号再発達

台風は種子島付近を西へ進み、夜には中心気圧985hPaに。九州南部では日降水量100mmを超す大雨。中国、近畿～北日本は概ね晴れ。北海道雄武の最高気温35.2℃は史上1位の値。

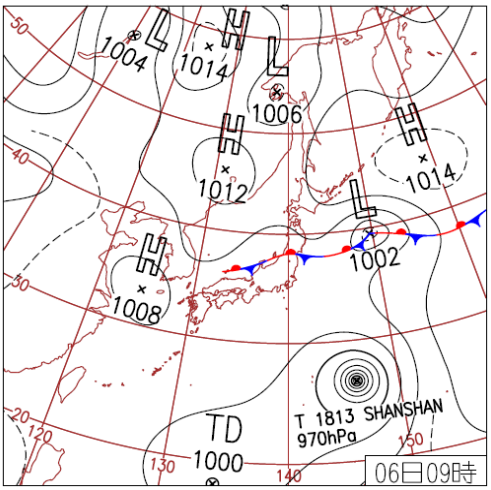
8 月 1 日(水):全国的に猛暑日



1日(水)全国200地点で猛暑日

全国的に上空まで気温が高く、仙台の最高気温37.3℃は観測史上1位。京都府舞鶴の最高気温38.6℃は8月1位更新。一方、台風第12号に近い九州や四国では局地的に激しい雨。

8 月 6 日(月):西日本で気温上昇



6日(月)山形県で記録的大雨

前線に近い山形県肘折の67.5mm/1hは、観測史上1位の値を更新。一方、東海以西を中心に晴れて気温上昇。岐阜県金山の41.0℃は、最高気温の観測史上1位の値を更新。

気象庁ホームページより

図 2.6 一斉モニタリング時の主な天気図

図 2.7 気象・海象観測位置（赤色の地点と地名は気象観測位置、緑色の地点と地名は潮位観測位置）

3. モニタリング調査結果

3.1 分析による水質調査

分析による水質調査では様々な水質項目を調査していますが、一斉モニタリング結果では次の８項目を示します。

① BOD（生物化学的酸素要求量）
② COD（化学的酸素要求量）
③ pH
④ 全窒素
⑤ 全リン
⑥ DO（溶存酸素）
⑦ SS（浮遊物質）
⑧ 大腸菌群数

＜水質指標が示すもの＞

①BOD	河川水の有機物による水の汚れを示します。汚れるにつれて値が大きくなります。
②COD	湖沼や海域の有機物による水の汚れを示します。汚れるにつれて値が大きくなります。
③pH	酸性・アルカリ性の程度を示します。pH7 が中性、pH が 7 より小さければ酸性、大きければアルカリ性です。
④全窒素	水中の窒素の量を示します。窒素はリンと並んで生物の栄養素ですが、家庭排水などに含まれる窒素が海域や湖沼に流入すると、赤潮などの汚濁原因となります。
⑤全リン	水中のリンの量を示します。リンは窒素と並んで生物の栄養素ですが、家庭排水などに含まれるリンが海域や湖沼に流入すると、赤潮などの汚濁原因となります。
⑥DO（溶存酸素）	水中に溶解している酸素量を示し、量が多いほど値が大きくなります。溶存酸素は、水中の生物の呼吸などに使われるので、欠乏すると魚介類のへい死や水の腐敗が起こります。
⑦SS（浮遊物質）	水中を漂う濁りの原因となる物質の量を示します。汚れるにつれて値が大きくなります。
⑧大腸菌群数	大腸菌や大腸菌と性質が似ている細菌の数を示します。水中の大腸菌群数はし尿による汚染の指標として使われています。

BOD（生物化学的酸素要求量）

河川水の有機物による水の汚れを示します。
汚れるにつれて値が大きくなります。

図 3.1　BOD（分析による水質調査結果）

長良川と木曽川に囲まれた領域や、鈴鹿川、雲出川周辺では 1mg/L 未満の調査結果が多くなっています。

COD（化学的酸素要求量）

湖沼や海域の有機物による水の汚れを示します。
汚れるにつれて値が大きくなります。

図 3.2　COD（分析による水質調査結果）

流域全体で 1mg/L~8mg/L の間でばらつきがみられます。

pH

酸性・アルカリ性の程度を示します。
pH7 が中性、pH が 7 より小さければ酸性、大きければアルカリ性です。

図 3.3 pH（分析による水質調査結果）

河川では一般的に 7 付近の中性で、河川の観測値の多くが 7 付近となっています。河川の一部の地点では 8 以上のアルカリ性を示していますが、地質などの自然の特性によって高くなることがあります。一方、海の pH は一般的に 8 前後のアルカリ性を示すため、海の観測値は 8 以上となっています。

全窒素

水中の窒素の量を示します。

窒素はリンと並んで生物の栄養素ですが、家庭排水などに含まれる窒素が海域や湖沼に流入すると、赤潮などの汚濁原因となります。

図 3.4 全窒素（分析による水質調査結果）

0.6mg/L 以上のところが多くなっています。

全リン

水中のリンの量を示します。

リンは窒素と並んで生物の栄養素ですが、家庭排水などに含まれるリンが海域や湖沼に流入すると、赤潮などの汚濁原因となります。

図 3.5 全リン（分析による水質調査結果）

0.05mg/L 以上のところが多くなっています。

DO（溶存酸素）

水中に溶解している酸素量を示し、量が多いほど値が大きくなります。
溶存酸素は、水中の生物の呼吸などに使われるので、欠乏すると魚介類のへい死や水の腐敗が起こります。

図 3.6　DO（分析による水質調査結果）

海域は海面付近の値を示しています。海域の水深方向の分布については、「伊勢湾の溶存酸素濃度状況（参考）」にてご確認ください。

SS（浮遊物質）

水中を漂う濁りの原因となる物質の量を示します。汚れるにつれて値が大きくなります。

図 3.7　SS（分析による水質調査結果）

多くの観測地点は、25mg/L 以下となっており、河川の環境基準 A 類型に適合する水質であるため、水の濁りは少ないといえます。

大腸菌群数

大腸菌や大腸菌と性質が似ている細菌の数を示します。
水中の大腸菌群数はし尿による汚染の指標として使われています。

図 3.8 大腸菌群数（分析による水質調査結果）

1000MPN/100ml 以上の値となっている地点が多くみられます。

3.2　簡易水質テスト結果

参加者の方々には、簡易水質テストとして以下の項目を調査していただきました。

＜モニタリング調査項目＞
水温、COD（化学的酸素要求量）、NH_4^+-N（アンモニウム態窒素）、NO_2^--N（亜硝酸態窒素）、NO_3^--N（硝酸態窒素）、PO_4^{3-}-P（りん酸態りん）、天気、水のきれいさ（色、にごり、におい）、水の量（量、速さ）、ごみの状況（場所、量）、生き物の状況（種類、量）、植物の状況（場所、量、種類）

調査項目の内、調査地点数が多く、伊勢湾流域圏の水質の汚染状況を示す、COD（化学的酸素要求量）、NH_4^+-N（アンモニウム態窒素）、NO_2^--N（亜硝酸態窒素）、NO_3^--N（硝酸態窒素）、PO_4^{3-}-P（りん酸態りん）の結果を図 3.9～図 3.13 に示しました。

また、見た目の水のきれいさを５段階で示していただいた結果を図 3.14 に示しました。

＜水質指標が示すもの＞

水質指標	水質指標が示すもの
① COD	湖沼や海域の有機物による水の汚れを示します。汚れるにつれて値が大きくなります。
② NH_4^+-N	窒素はりんと並んで生物の栄養素ですが、家庭排水などに含まれる窒素が海域や湖沼に流入すると、赤潮などの発生原因となります。NH_4^+-N は、窒素の主な形態の一つであり、濃度が高い場合、生活排水や工場排水、あるいは田畑から肥料分が流れて出ていると考えられます。
③ NO_2^--N	NO_2^--N は、窒素の主な形態の一つであり生物の栄養素となります。不安定な物質ですが、pH 等の状況や窒素肥料の施肥量が多いと濃度が高くなることがあります。
④ NO_3^--N	NO_3^--N は、窒素の主な形態の一つであり生物の栄養素となります。きれいな水は NO_3^--N の割合が高く、汚れた水は NH_4^+-N の割合が高くなります。ただし、NO_3^--N が多量に存在すると人の健康に影響を与えるため、水道水の水質基準では、NO_2^--N と NO_3^--N の合計が 10mg/L 以下に設定されています。
⑤ PO_4^{3-}-P	PO_4^{3-}-P は、りんの主な形態の一つです。植物の生育に必要な要素であり、生物の死骸などにより供給されますが、生活排水、肥料にも多く含まれます。海水や湖沼水中に PO_4^{3-}-P が増加すると、赤潮などの発生原因となります。

COD（化学的酸素要求量）

湖沼や海域の有機物による水の汚れを示します。
汚れるにつれて値が大きくなります。

図 3.9 COD（簡易水質テスト結果）

人口が密集する市街地を流れる河川では、5mg/L 以上の高い値が観測されています。一般的には生活排水等により、濃度が高くなっていると考えられます。

NH_4^+-N（アンモニウム態窒素）

窒素はりんと並んで生物の栄養素ですが、家庭排水などに含まれる窒素が海域や湖沼に流入すると、赤潮などの汚濁原因となります。NH_4^+-N は、窒素の主な形態の一つです。濃度が高い場合、生活排水や工場排水あるいは田畑から肥料分が流れていると考えられます。

0.5mg/L 以上になると、生物の生息・生育・繁殖環境として良好とは言えないとされています。

図 3.10 NH_4^+-N（簡易水質テスト結果）

庄内川流域において 0.5mg/L 以上の値が観測されています。一般的には、生活排水や田畑からの肥料分の流出、畜産排水等により、濃度が高くなっていると考えられます。

経年的には、流域全体としては 0.5mg/L 未満の割合が経年的に 6~8 割程度を占めており、比較的良好であるといえます。

NO_2^--N（亜硝酸態窒素）

NO_2^--N は、窒素の主な形態の一つであり生物にとっての栄養素となります。不安定な物質ですが、pH 等の状況や窒素肥料の施肥量が多いと濃度が高くなることがあります。

図 3.11 NO_2^--N（簡易水質テスト結果）

市街地を流れる河川において、0.007mg/L 以上の高い値が観測されています。一般的には、生活排水や田畑からの肥料分の流出、畜産排水等により、濃度が高くなっていると考えられます。

0.007mg/L 未満の比較的良好な水質が占める割合は、経年的に 3～4 割程度で推移しています。

NO_3^--N（硝酸態窒素）

NO_3^--N は、窒素の主な形態の一つであり生物にとっての栄養素となります。きれいな水は NO_3^--N の割合が高く、汚れた水は NH_4^+-N の割合が高くなります。ただし、NO_3^--N が多量に存在すると人の健康に影響を与えるため、水道水の水質基準では、NO_2^--N と NO_3^--N の合計が 10mg/L 以下と設定されています。

窒素のうち最も量の多い形態であり、伊勢湾に流出すると富栄養化（藻類の異常発生）の原因の一つになります。

図 3.12 NO_3^--N（簡易水質テスト結果）

一般的には、生活排水や田畑からの肥料分の流出、畜産排水等により、濃度が高くなっていると考えられます。

経年的には、1.2mg/L 未満の比較的良好な水質の占める割合は８割程度と高くなっています。

PO_4^{3-}-P（りん酸態りん）

PO_4^{3-}-P は、りんの主な形態の一つです。植物の生育に必要な要素であり、生物の死骸により供給されますが、生活排水、肥料にも多く含まれ、海水や湖沼水中に PO_4^{3-}-P が増加すると、赤潮などの汚濁原因となります。

りんのうち最も量の多い形態であり、伊勢湾に流出すると富栄養化（藻類の異常発生）の原因の一つになります。

図 3.13 PO_4^{3-}-P（簡易水質テスト結果）

一般的には、生活排水や田畑からの肥料分の流出、畜産排水等により、濃度が高くなっていると考えられます。経年的には、0.11mg/L 未満の比較的良好な水質の占める割合は、7 割程度となっています。

水のきれいさ

調査を実施したときの水のきれいさについて、５段階（（悪い）１・２・３・４・５（良い））で評価しています。
調査をした方が感じた調査地点の水の印象を示す指標です。

図 3.14 見た目の水のきれいさ

市街地を流れる河川の一部や、湾奥部でも 3 以上の比較的水がきれいという評価がされています。

また、一部の観測地点において、3 未満の比較的悪い評価が見られますが、市街地付近でも 4～5 の評価などきれいな水の評価がみられます。

水のにごり

調査を実施したときの水のにごりについて、５段階（（悪い）１とても濁っている・２中間・３少し濁っている・４中間・５澄んでいる（良い））で評価しています。

調査をした方が感じた調査地点の水の印象を示す指標です。

図 3.15 見た目の水のにごり

多くの地点で１以上２未満の値となっています。大きな河川では、水の透明度が悪くなる傾向があると考えられますが、宮川など一部の河川では５（良い）などの良好な値がみられる地点もあります。

3.3　一斉モニタリングの状況

【団体名：愛知県岐南町】

調査日：平成 30 年 8 月 3 日

【境川】

下流を望む

上流を望む

川面状況（穏やか）

水深　H=0.3m～0.5m

水の濁り状況

透明度が高い

水温　32.8 度　気温　39.2 度

採水調査状況

【団体名：岐阜県神戸町】

調査日：平成 30 年 8 月 1 日

【平野井川】

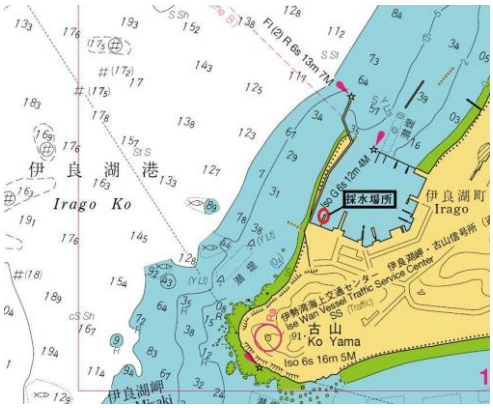
【菅野川】

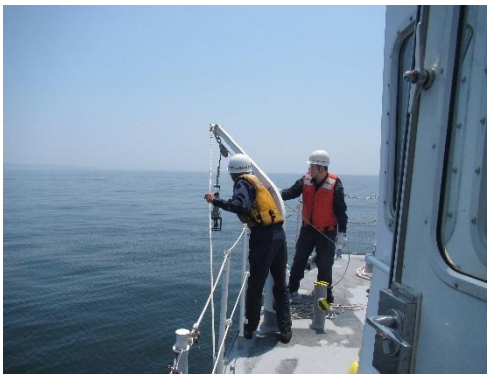
【奥川】

【団体名：第四管区海上保安本部】

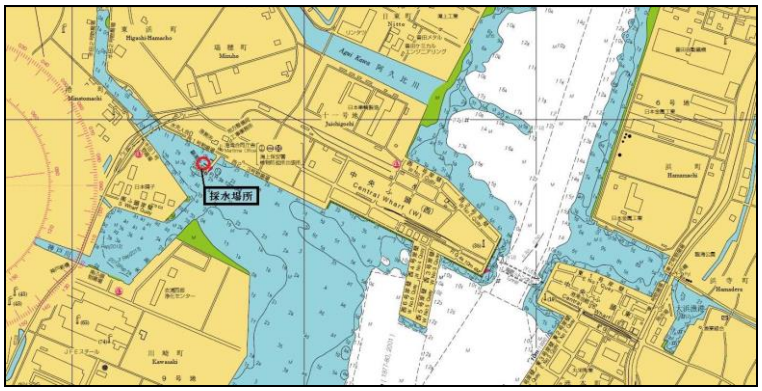
調査日：平成 30 年 7 月 30 日、8 月 1 日、4 日、7 日

【伊良湖港】

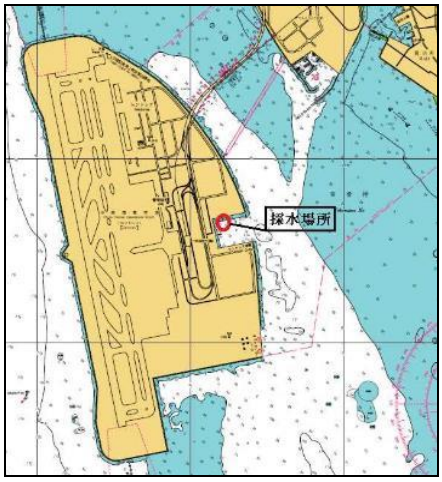




【衣浦港】



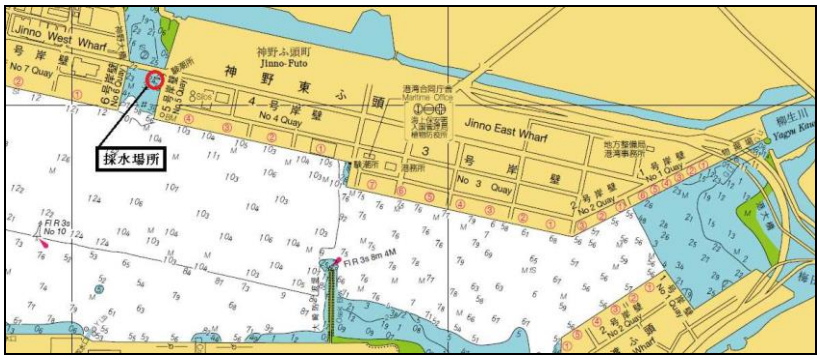
【常滑港】


採水場所

【名古屋港】

調査場所
港陽公園
名古屋市立大手小
業務スーパー
名古屋みなと店
名古屋港シー
レインランド
日産化学工業
(株)名古屋工場
名古屋港水族館
名古屋みなと振興財団
名古屋港ポートビル
大同特殊鋼粉末工場
名古屋市立東築地小
名古屋市立港南中
名鉄築港線

【三河港】


採水場所
Jinno West Wharf
No 7 Quay
神野ふ頭町
Jinno-Futo
神野東ふ頭
4号岸壁
No 4 Quay
Jinno East Wharf
3号岸壁
No 3 Quay
No 2 Quay
No 1 Quay
Fl R 3s 8m 4M
Fl R 3s
No 10

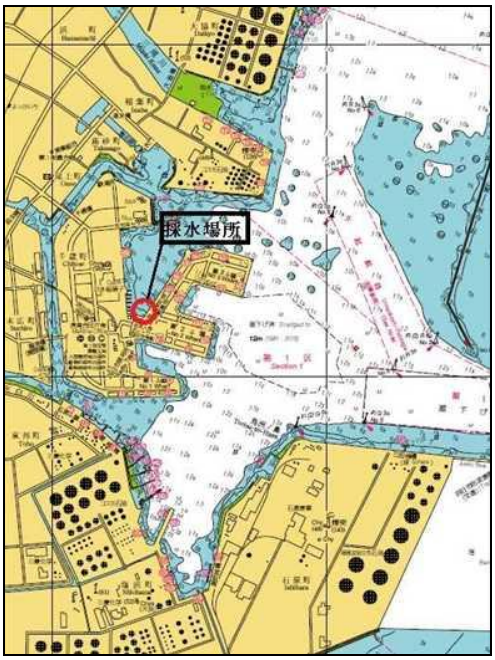
準色〈COD〉

【鳥羽港】

採水場所
Fl G 5s 9m 5/2M
F R 43m 8M
日和山
Hiyori Yama
Iso R 4s 60m 8M
鳥羽港
Toba Ko
See Plan
相島(18)
〔真珠島〕

PC36

【四日市港】



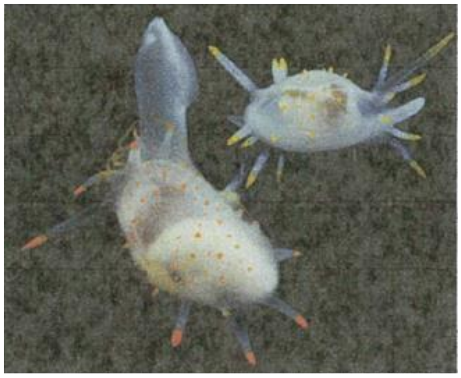
【団体名：三重県津市（環境保全課）】

調査日：平成 30 年 8 月 1 日、6 日

【団体名：「あいちの海」グリーンマップ】

調査日：平成 30 年 7 月 23 日

貝・ウミウシ



オウギウロコガイ

カスミミノウミウシ

シラユキウミウシ

シロイバラウミウシ

コモンウミウシ、アオウミウシ、シロウミウシ、ヒメメリベ
ウスキセワタ、ブドウガイ、アズキウミウシ、コノハミドリガイ、クロコソデウミウシ、アカエラミノウミウシ

【団体名：伊勢湾流域圏再生ネットワーク】

調査日：平成 30 年 8 月 4 日

【土岐川】

【団体名：内山川ホタルを守る会】

調査日：平成 30 年 8 月 5 日

【内山川】

倒木

倒木引き上げ

内山川 1 状況

内山川 2 状況

内山川パックテスト

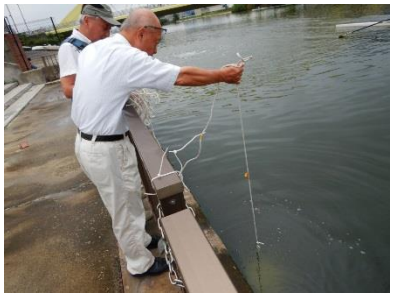
内山川生き物調査

内山川参加者

【団体名：NPO法人伊勢湾フォーラム】

調査日：平成 30 年 8 月 7 日

【中川運河いろは橋】



透明度を図る様子

水温調査

調査の様子

【中川運河小栗橋】

透明度を図る様子

水温調査

調査の様子

【団体名：扇川を愛する緑の会】

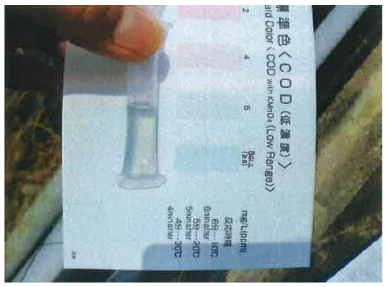
調査日：平成 30 年 8 月 5 日

【扇川上流（大地）】

扇川源流（大池）

採地点

pH

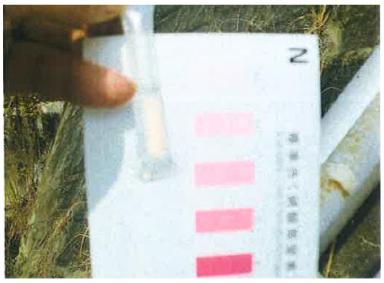


COD（低濃度）

NH_4

PO_4

NO_2



NO_3

採水地点（流出口付近）
空き缶、ペットボトル

左側にガマの群生、右奥はヒシの群生
採水地点(流出口付近)もヒシの群生

扇川

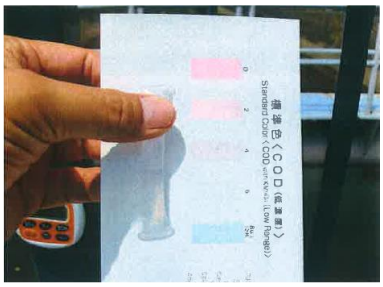
モニタリング状況

【扇川（満潮時）】

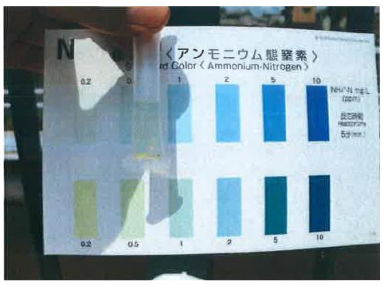
扇川上流

扇川下流

pH

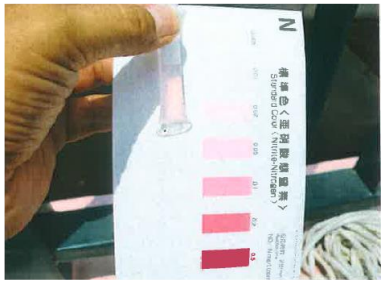


COD（低濃度）

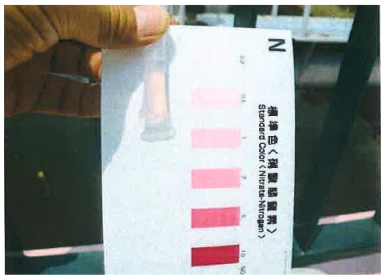


NH_4

PO_4

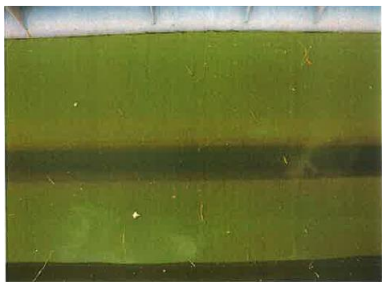


NO_2



NO_3

植物の枝、葉っぱ



植物の枝、葉っぱ

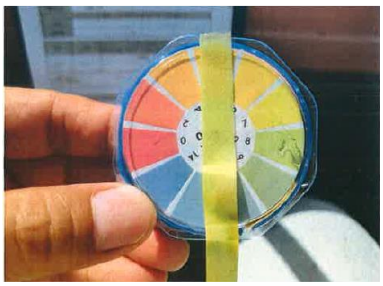
人道橋の上、タバコの吸い殻がいっぱい

【扇川（干潮時）】

モニタリング状況

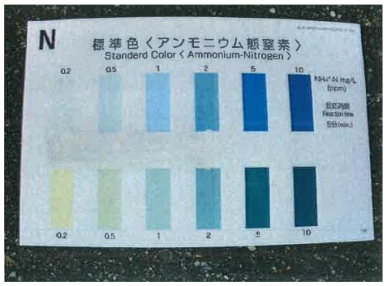
扇川上流

扇川下流

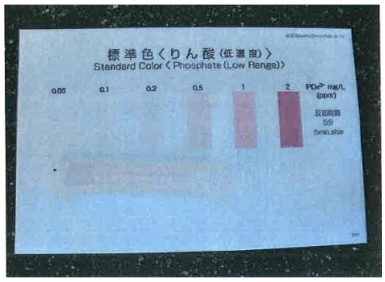


pH

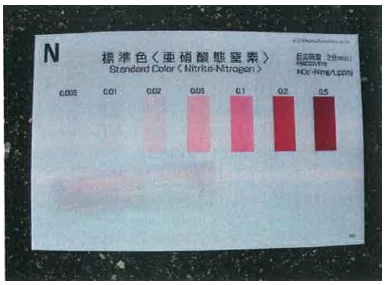
COD（低濃度）



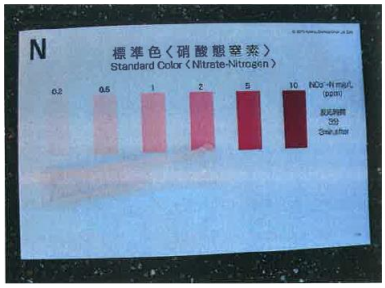
NH_4



PO_4



NO_2



NO_3

植物の枝、葉っぱ

川岸に植物の枝、葉っぱが集まっています

【団体名：大井まちづくり協議会 スナメリの海】

調査日：平成 30 年 8 月 5 日

【大井川：大井小学校前】

【聖崎（ひじりざき）・鳶ヶ崎（とびがざき）】

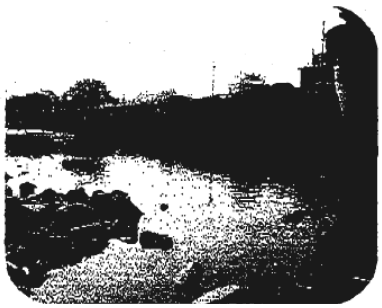
【海田川（かいたがわ）】

【団体名：小里川ダム里山教室】

調査日：平成 30 年 7 月 25 日

【土岐川：明徳橋】

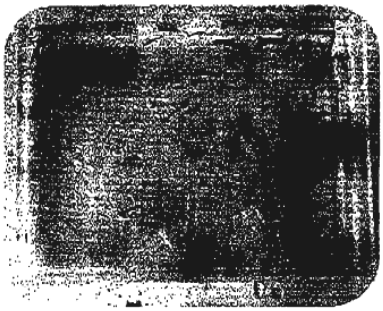
H30 年度モニタリング調査隊 7 名



上流方面

下流方面

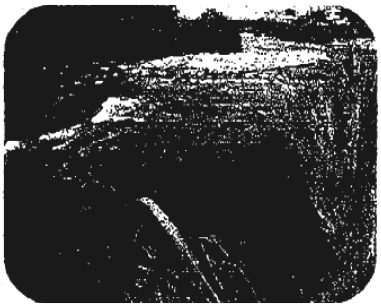
投網調査



水生生物

【小里川：孕子（はらみこばし）橋】

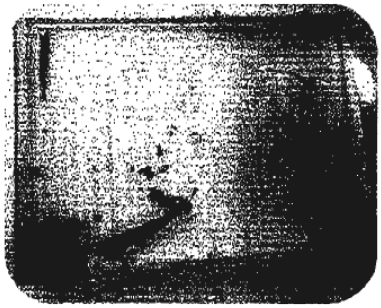
上流方面



下流方面

タモで捕獲

タモでガサガサ調査



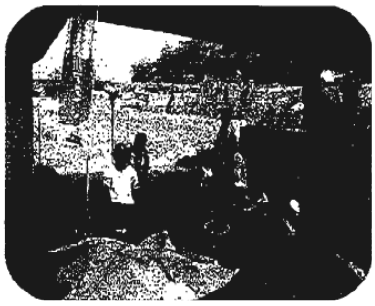
水生生物

土岐川合流部にカワウ居座る

【釜戸川：新町屋橋】

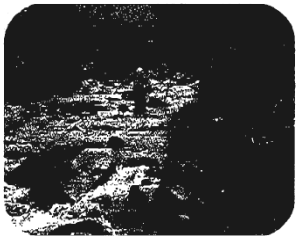
上流方面

下流方面



熱中症対策：橋のたもとで休憩

投網をするも捕獲できず



タモで捕獲

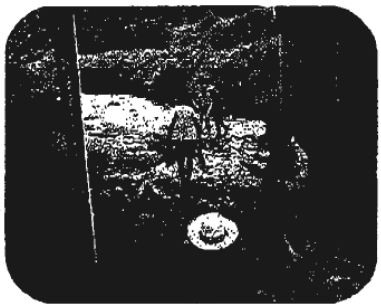
新町屋橋でガサガサ

水生生物

【佐々良木川：上平橋】

上流方面

下流方面



上平橋地点で水温、水流、ゴミ調査、

上平橋上流部で生き物探し

水生生物

【団体名：可児市めだかの楽校】

調査日：平成 30 年 8 月 4 日

【可児川】

pH 試験紙の水質調査を参加者に説明する可児市めだかの楽校小学生

「動いている」「見つけた」「・・・」　楽しい水生生物観察

【団体名：亀岡社中】

調査日：平成 30 年 7 月 29 日

生き物調査

水質調査

【団体名：岐阜市生活学校】

調査日：平成 30 年 8 月 23 日

H29.6.7
アッ何か捨てられている。
自転車だ。

魚もいなくなった。
川が泣いてるよ。

自転車にゴミがつき、きたない。
なんとかしないといけない。

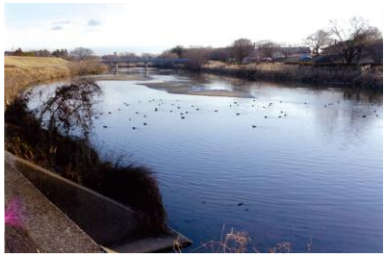
H29.8.27
境川河川敷き、緑道公園、道の駅周辺のゴミ拾い。
花火の燃えチリが南東に多かった

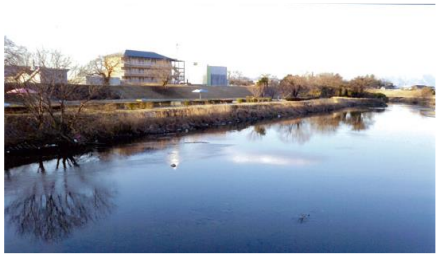
女性部、地域ボランティアと一緒に消防職員さんと協力でゴミ拾い。袋 40 個。
すがすがしい朝でした。

H30.5.5
さかい川にそって 280 匹のこいのぼりが泳ぎます。

6.13
南部プラントを見学
放流される水は浄化されきれい。
大きなコイが 30 匹よってきました。

7.26
朝ラジオ体操





H30.1.12　朝 7 時 45 分
柳津小通学橋、新境川橋から
アッ！水鳥が帰ってきた。自転車が捨てられて 5 か月後
水鳥やこい、亀がいる川はきれいな川だね!

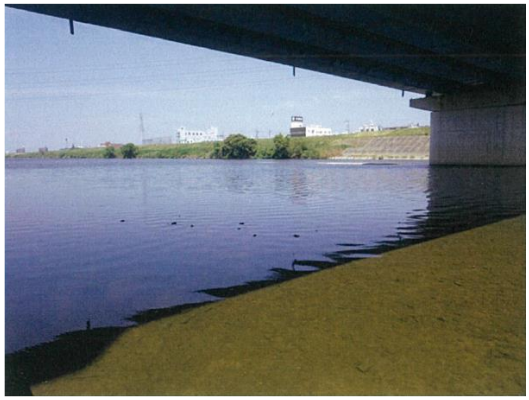
【団体名：公益財団法人　河川財団】

調査日：平成 30 年 8 月 2 日

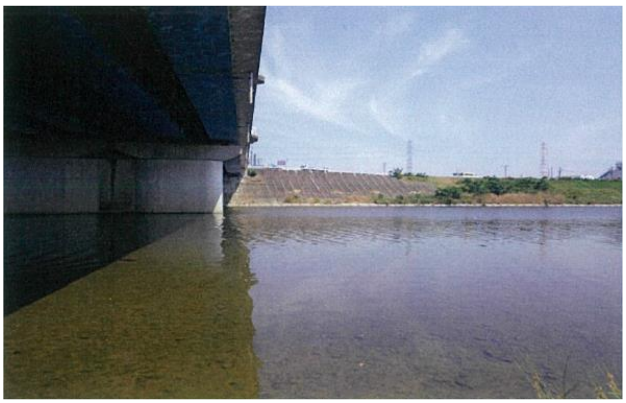
【庄内川】

水温計測中

水際には植物がたくさん生えている



目立ったごみはなかった



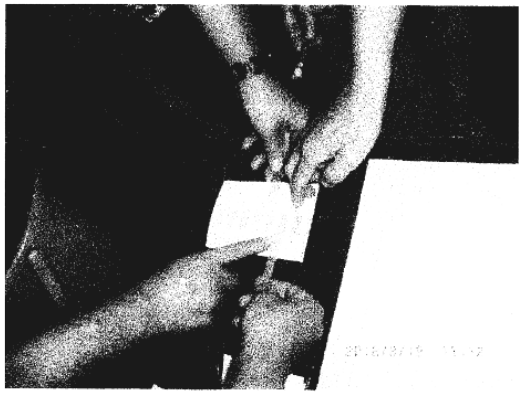
水の量、速さは普通

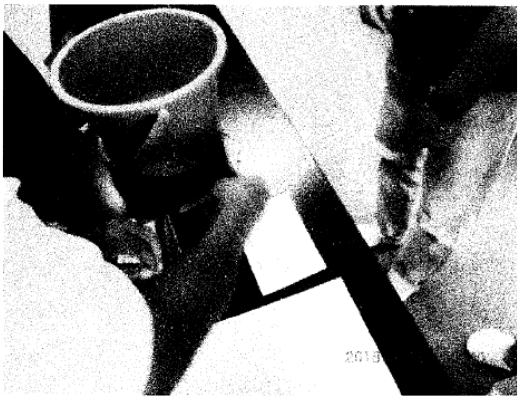
【団体名：鯱城・堀川と生活を考える会】

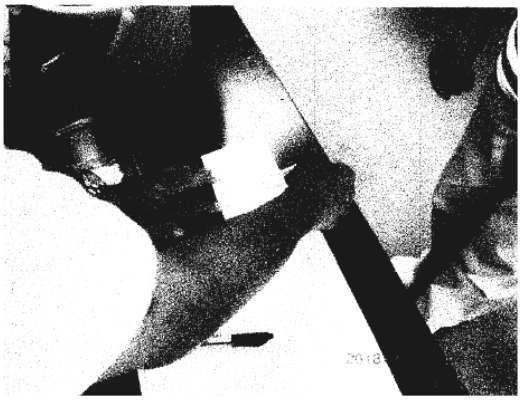
調査日：平成 30 年 8 月 1 日

【団体名：清水川を愛する会】

調査日：平成 30 年 7 月 22 日







【団体名：庄内川・川ナビ歩こう会】

調査日：平成 30 年 7 月 27 日

【団体名：高松干潟を守ろう会】

調査日：平成 30 年 8 月 23 日

【団体名：別所団地西鹿乗川美化クラブ】

調査日：平成 30 年 7 月 28 日

①採水

深さ 3mの割堀川、団地の雨水の出口だが、本日は雨水ゼロです。

②川相

①より 5m 下流、50cm の深見あり冬期の魚のたまり場、カダナナガオモがたくさん見られる。

③川の両岸

①より 30m 先に段差あり、流れに変化をつけている。よう壁の隙間より、又川中のヘドロの堆積地に各種雑草多し。

右側に巾 20m の広葉樹が植栽されている。

④透視度の測定

ややにごっている感じの水だが、透視度は 82cm あった。

【団体名：みどりのまちづくりグループ】

調査日：平成 30 年 8 月 7 日

【大谷川】大谷川源流

ゴミはなく、水辺にも多くの植物

大きなアベマキの木陰で調査

【内津川】泉橋（大谷、内津川合流）

水辺にはハグロトンボ、川の上には多くのウスバキトンボ

川面、水際にもゴミ

泉橋の下で調査

【内津川】五反田橋

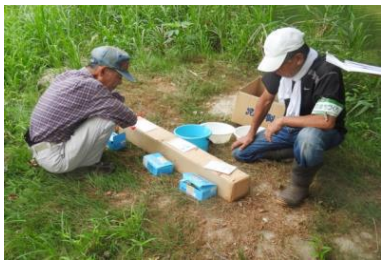
水は堰き止められていて両岸ともコンクリートと、４か所の中では最悪の地点

川面、水辺にはゴミが目立つが、堰のすぐ下には水鳥の姿

五反田橋の下で調査。いやなにおいを少し感じる

【庄内川】上条河畔

ゴミはなく、水辺にも多くの植物　　河畔林のヤナギの木陰で調査



川面に多くのアメンボ、川の中には小さい魚、岸辺には種々の昆虫　河畔林のヤナギの木陰で調査

【団体名：宮川流域ルネッサンス協議会】

調査日：平成 30 年 7 月 31 日

【宮川】

宮川上流域

（宮川上流漁協下（宮川：大台町滝谷）

奥伊勢フォレストピア付近（薗川：大台町薗）

山海の郷紀正下（大内山川：大紀町崎）

宮川中流域

三瀬谷ダム下流（宮川：大紀町三瀬川）

高橋下（濁川：多気町色太）

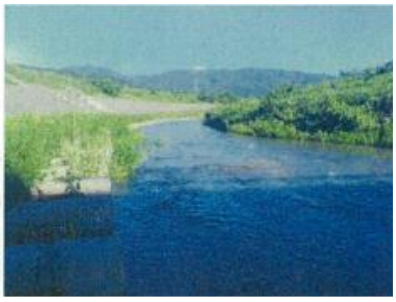
西垣内フリーバス停下（一之瀬川：度会町栗原）

宮川下流域

度会橋下の流心（宮川：伊勢市中島１丁目）

新橋下（五十鈴（いすず）川：伊勢市宇治中之切町）

馬渕橋下（横輪川：伊勢市津村町）



【団体名：やすらぎくんネット】

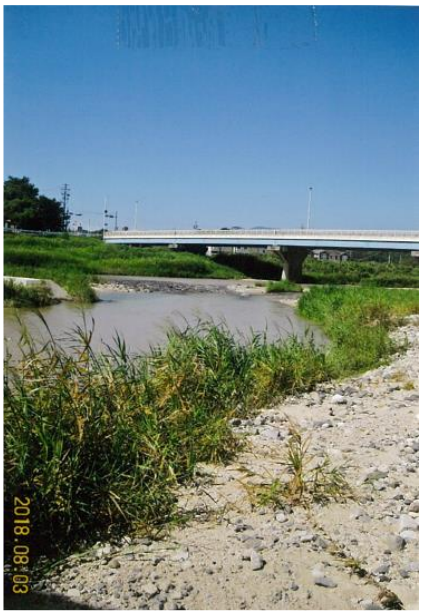
調査日：平成 30 年 8 月 3 日

【鈴鹿川】

仕掛（モンドリ）に入った魚群

参宮線鉄橋下からの下流側

漂着ペットボトル



参宮線鉄橋の下から上流側の亀山橋方向

【団体名：矢田・庄内川をきれいにする会】

調査日：平成 30 年 7 月 31 日

【庄内川】　庄内川橋

【庄内川】　水分橋（みずわけばし）

【庄内川】　庄内川支流　地蔵川　御幸樋門

【庄内川】　松川橋

【団体名：養老町生活と環境を考える会】

調査日：平成 30 年 8 月 3 日

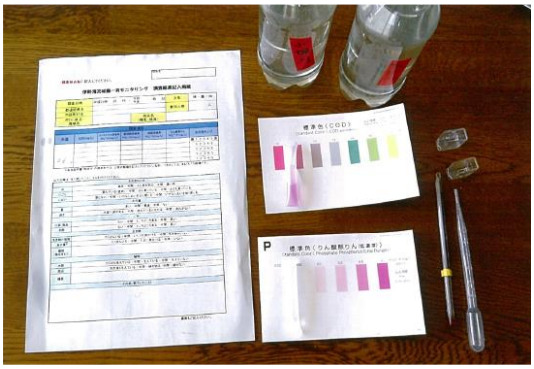
【牧田川】

【小畑川】

川底にごみ

トンボ

よしの中にごみ



【団体名：四つ葉会】

調査日：平成 30 年 8 月 1 日

【東川】

【中川】

【杭瀬川】

【団体名：レッ津！夢みなとプラン推進協議会】

調査日：平成 30 年 8 月 7 日

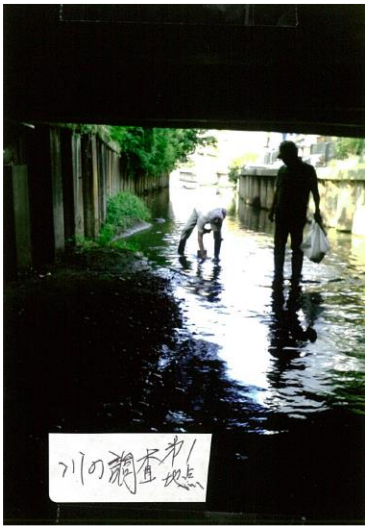
水質調査の様子

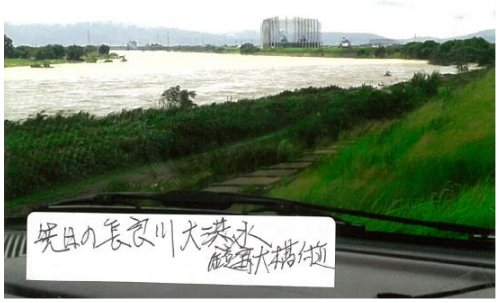
左　飲料水　　右　採取した水

水温調査の様子

【団体名：論田川を美しくする会】

調査日：平成 30 年 8 月 4 日





【団体名：渡し場かもめ会】

調査日：平成 30 年 8 月 5 日

清掃開始前のミーティング（分担割振り）

漂流ゴミのゴミ拾い

投棄ゴミのゴミ拾い

護岸工事関連企業の皆さんも参加協力

可燃ごみと不燃ごみに層別分類

翌日ごみ焼却施設（クリーンセンター）へ搬入

海水をくみ取り水質調査

ここは特に夏場はハゼ釣り客で大賑わい

【団体名：小塩通信株式会社】

調査日：平成 30 年 8 月 2 日

【長良川左岸】

鏡島大橋下

調査場所

調査場所水際

調査場所川面

上流側

下流側

活動者

【東芝プラントシステム株式会社】

調査日：平成 30 年 8 月 2 日

【庄内川】

放流口付近

新名西橋付近

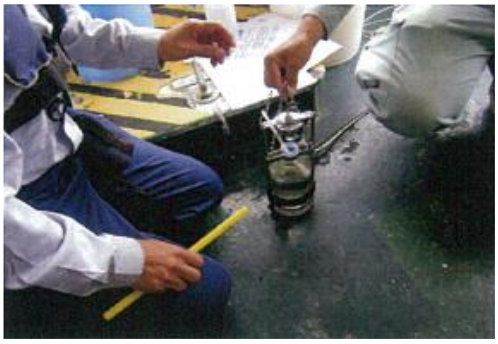
【団体名：名古屋みなと建設工事安全連絡協議会】

調査日：平成 30 年 7 月 27 日

【名古屋港西部】

透明度調査

採水



水温

水の綺麗さ

におい

【団体名：四日市市立山手中学校】

調査日：平成 30 年 7 月 26、30 日

【海蔵川（かいぞうかわ）】

3.4　ごみ調査の状況

【団体名：みどりのまちづくりグループ】

調査日：平成 30 年 8 月 7 日

【内津川】

泉橋（大谷、内津川合流）

川面、水際にもゴミ

五反田橋

川面、水辺にはゴミが目立つ

【団体名：やすらぎくんネット】

調査日：平成 30 年 8 月 3 日

【鈴鹿川】

漂着ペットボトル

【団体名：養老町生活と環境を考える会】

調査日：平成 30 年 8 月 2 日

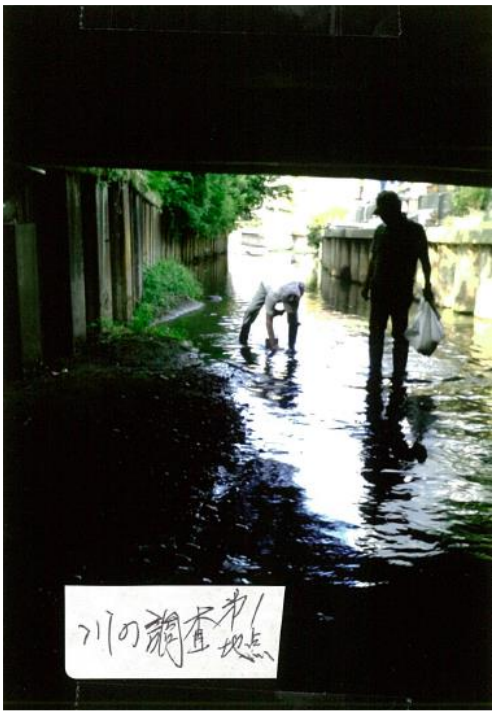
【小畑川】

川底にごみ

よしの中にごみ

【団体名：論田川を美しくする会】

調査日：平成 30 年 8 月 2 日



【団体名：渡し場かもめ会】

調査日：平成 30 年 8 月 5 日

清掃開始前のミーティング（分担割振り）

漂流ゴミのゴミ拾い

投棄ゴミのゴミ拾い

護岸工事関連企業の皆さんも参加協力

可燃ごみと不燃ごみに層別分類

翌日ごみ焼却施設（クリーンセンター）へ搬入

3.5　水生生物調査結果

【団体名：三重県津市】

調査日：平成 30 年 7 月 21 日

水生生物調査記録用紙

調査団体	津市
担当課	環境保全課

指標生物（見つかった指標生物に○印、数が多かった上位から2種類（最大3種類）に●印をつけて下さい）				
水質階級Ⅰ	きれいな水	1	アミカ類	
		2	ナミウズムシ	○
		3	カワゲラ類	
		4	サワガニ	
		5	ナガレトビケラ類	●
		6	ヒラタカゲロウ類	●
		7	ブユ類	○
		8	ヘビトンボ	○
		9	ヤマトビケラ類	
		10	ヨコエビ類	
水質階級Ⅱ	ややきれいな水	1	イシマキガイ	
		2	オオシマトビケラ	
		3	カワニナ類	○
		4	ゲンジボタル	
		5	コオニヤンマ	○
		6	コガタシマトビケラ類	○
		7	ヒラタドロムシ類	
		8	ヤマトシジミ	
水質階級Ⅲ	きたない水	1	イソコツブムシ類	
		2	タニシ類	
		3	ニホンドロソコエビ	
		4	シマイシビル	
		5	ミズカマキリ	
		6	ミズムシ	
水質階級Ⅳ	とてもきたない水	1	アメリカザリガニ	
		2	エラミミズ	
		3	サカマキガイ	
		4	ユスリカ類	
		5	チョウバエ類	

水質階級の判定	水質階級	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ
	1．○印と●印の個数	5	3	0	0
	2．●印の個数	2	0	0	0
	3．合計（1欄＋2欄）	7	3	0	0
この地点の水質階級は				Ⅰ	です

調査地点の概要（生物を採取した場所の状況について記入して下さい）	
調査河川名	長野川（稲葉町）
調査日時	2018年7月21日10時00分
天　気	☑はれ　☐くもり　☐雨 調査時の天気をチェックして下さい
水　温	24．9　℃（小数点1桁まで記入して下さい）
川　幅	約　20　m
生物を採取した場所	☐川の中心 ☐上流から見て右岸 ☑上流から見て左岸 採取した場所をチェックして下さい
水の深さ	約　15　cm 採取した場所の平均的な水深を記入して下さい
流れのはやさ	☐速い（毎秒60cm以上） ☑普通（毎秒30～60cm）　毎秒37.5cm ☐遅い（毎秒30cm以下）
川底の状態	☐頭大の石が多い　☑こぶし大の石が多い ☐小石と砂　☐コンクリート ☐砂と泥　☐泥 ☐コケ　☐その他
水のにおい	☑においは感じられない ☐においが感じられる （ドブ、石油、薬のような不快感のあるにおい）
水のにごり	☑透明またはきれい ☐少しにごっている ☐大変にごっている

～総評～
きれいな水にすむ指標生物（特にナガレトビケラ類とヒラタカゲロウ類）が多く見つかったので、今回調査した長野川の水質階級はⅠ（きれいな水）となりました。

その他の生物（魚、水生昆虫、貝、エビ・カニ類、水草類、鳥類）		
タニガワカゲロウ	オイカワ	タモロコ
ヨシノボリ	カワムツ	モクズガニ
コカクツツトビケラ	ヒゲナガカワトビケラ	
ヌマエビ	シマドジョウ	
ブラックバス	コオイムシ	

4. 感想等

一斉モニタリングの参加者から感想を頂きました。

◆参加者名、団体名：岐阜県岐南町 ◆主な観測地点：境川 ・　今回で5回目の調査となりますが､基準日のころは水量水質ともに安定していると思います。岐南町上流自治体においても公共下水道の整備が進んでおり、上記要因の主な理由であると考えられます。河川整備も進行中である為、今後の水の状態を見守り続けたいと思います。
◆参加者名、団体名：「あいちの海」グリーンマップ ◆主な観測地点：南知多町長谷崎 ・　たまたまですが、調査用の水質はとてもよく、海の中がきれいに見えました。 ・　暑さのせいでしょうか。例年に比べ、磯のアナアオサがほとんどなく（春にはあったので暑さに負けたのでしょう)。またアメフラシ、ウミウシの姿が消えてしまいました。昨年はこの時期にウミウシの数は減りましたが、生まれたての小さなものがいくつか見つかっていました。今年の暑さは生き物にも大きな影響を与えています。
◆参加者名、団体名：イーツーワン（環境２１期会） ◆主な観測地点：堀川（小塩橋） ・　水の流れ：引き潮で速足くらい ・　ごみ：木の葉がところどころに・・・大きなゴミ袋が１ケ流れていった。
◆参加者名、団体名：内山川ホタルを守る会 ◆主な観測地点：内山川（森下橋下流落差工、上境坪橋上流） ・　毎年、参加しているがパックテストの試薬が7月から劇物していされたことで、配布はなかったが、自前の用意して子供たちには手袋を着用してもらい、大人の指導の下に実施した。子供たちはこのパックテストによる比色も楽しみにしているので、引き続き水質検査と生き物調査を実施していきたい。
◆参加者名、団体名：NPO法人伊勢湾フォーラム ◆主な観測地点：中川運河（いろは橋付近　名古屋港漕艇センター（上層、下層2.5m)） ・　水質環境は良い。水温は、測定地の水深が1m～1.5mのため、上層下層も大きな差はなかった。 ◆主な観測地点：中川運河（小栗橋付近（上層、下層2.5m)） ・　水質環境は良いが堀止近くであり、においを感じました。

◆参加者名、団体名：扇川を愛する緑の会 ◆主な観測地点：扇川（大池、干潮時、満潮時） ・　過去何年かの調査結果の中でも、水質が悪かった。夏場でかなり気温の高い日が続いたせいでしょうか？ ・　調査をしていると、「何か釣れましたか？」と、良く聞かれます。水質の調査ですと答えると、特に年配の方から、「昔はよくここで泳いだ」「有松・鳴海絞の廃液を直接流していた」と話をしてくれます。 ・　川に入っての一斉清掃も今年は出来ませんでした。慣れ親しんだ地元の川ですので、いつまでもきれいな川であってほしいです。
◆参加者名、団体名：大井まちづくり協議会 スナメリの海 ◆主な観測地点：大井川 ・　安心して（子供での使える）使用出来る調査キットが出来る事を望みます。
◆参加者名、団体名：小里川ダム里山教室 ◆主な観測地点：庄内川、土岐川、釜戸川（明徳橋、孕子橋、新町屋橋、上平橋） ・　来年はぜひキッドを使った水質検査をしたい。
◆参加者名、団体名：可児市めだかの楽校 ◆主な観測地点：可児川（可児市役所北側の地点） ・　私たちが初めてこの一斉モニタリングに参加したのは、2010 年からだと思います。毎年参加してきて、感じているのは私たちの会員でこの間小学生と親の参加は増えていることです。嬉しいことです。
◆参加者名、団体名：亀岡社中 ◆主な観測地点：堀川最上流 ・　パックテストが出来なくて残念。台風一過の風の強い晴天でした。今年の夏は台風が多く雨天が続き猛暑になりました。調査地点は雨が降ると導水がなく水深が浅く、地下水を導水して流れが出来る川でした。「庄内川・川ナビ歩こう会」の協力を得て器具を使って水質を調べ、水質についての勉強会を講師を招いて開催していただきました。

◆参加者名、団体名：岐阜市生活学校

◆主な観測地点：境川

- 岐阜市南部に流れる一級河川境川に合流して伊勢湾流域に流れ込むことを再確認して、河川の偉大さを知り、個々の家庭生活のマナーの大切さを痛感しました。
- こどもを見守り活動を 18 年続けています。蛍雪橋を子供たちと毎朝川を見ながら渡ります。
- H30.7.6　朝　大雨警報が発令
  境川茶色の強い流れが、いくつもの渦を巻き、うねるように蛍雪橋も揺れ動く感じでした。用水路も水が満杯で、強い流れで引き込まれそうだった。
- H30.7.8　朝見守り中
  用水路、川の周辺、変なにおい！（物が腐った匂いだった）
- H30.7.9　子供の声
  魚たちどうしているだろうね！木の根っこに体をまげてつかまってるよ！
- H30.7.10　こどもの声
  三日目の朝　水がきれいになり、7 匹の鯉が木の陰から姿を見せてくれた。亀 2 匹、橋の下まできてくれた。“よかった！”大喜び。鯉も亀もみんな友達だよね！がんばったね！
- 地域の河川は、人々の心の宝です。家庭、周囲のゴミを拾い、河川環境を守るのが、ひいては、地球を美しくしていくのではないでしょうか。
- 毎年伊勢湾のほうに旅行します。海も食事も美味です。

◆参加者名、団体名：鯱城・堀川と生活を考える会

◆主な観測地点：堀川（港新橋　国道 23 号線）

- 名古屋港　最大満潮時刻　8:01　2.31m　　最大干潮時刻　14:23　0.6m
  満潮時刻の２時間後に測定しており名古屋港の水質に近い気がする。（塩分濃度が 1.06%あることから）
- 生き物が「ウ」と「カルガモ」しか見られず、少し寂しい。
- 護岸に植物（ヨシ）などがあれば、もっと生き物が豊かになると思われる。
- 生き物豊かな「堀川」にするには、調査を継続しその結果を多くの市民が知り、身近な川に感心を持つことが肝要。

◆参加者名、団体名：庄内川に松並木つくり隊

◆主な観測地点：名古屋港（東金城大橋、名港トリトン西大橋　西側）、貯木場（第２イカダ大橋）、和泉川（夢岬橋）、庄内川（横井大橋）、鍋田ふ頭（富浜橋）

- 昨年と同じ

◆参加者名、団体名：庄内川・川ナビ歩こう会

◆主な観測地点：土岐川庄内川（多治見橋上流）

- パックテストが出来なくて残念でした。今回は多項目水質計を借用して水質調査を行い水質についＴの勉強会を開きました。

◆参加者名、団体名：高松干潟を守ろう会 ◆主な観測地点：朝明川右岸河口 ・　水温を測るのを忘れていました。 ・　キッドがないことから、一人で測定、毎年の感想を出し合うことができなく残念な思いがしました。モニタリング参加の意気込みにかけた。
◆参加者名、団体名：引山学区連絡協議会 ◆主な観測地点：香流川中流域 ・　香流川クリーン作戦を春・秋 2 回実施　※別紙同封 河川敷、川にほとんどゴミ（ナイロン袋)、空カン、ペットボトル等ありません ・　今年も秋から上流域の長久手市の 4 団体もクリーンキャンペーンに参加することになっています ・　毎年名東区役所で香流川を守る会の会合を行っている 上流・中流・下流域の団体に呼びかけ年 1 回情報交換等の会議を開催
◆参加者名、団体名：別所団地西鹿乗川美化クラブ ◆主な観測地点：西鹿乗川（最上流部、県道界橋下流へ約 500 メートル小公園横） ・　調査地点は西鹿乗川の最上流にある。 約 500m 上流にアルミ会社の排水溝がある。 これより上流は田んぼの落水が主で、人家は 20 軒以下で生活排水はほとんどないと思われる。 川は田んぼの落水で 2 月～5 月は茶色ににごっている。6 月～9 月はほぼ澄んだ水が流れる。10 月～1 月はアルミ会社の浄化された水のみとなり、水量が 1/3～1/4 になる。それでも水の生き物達の命をつないでいる。 農業の落ち水管理や冬季の明治用水の放出ができると豊かなきれいな川になると思います。 私達美化クラブは散歩する人達に川面が見れる様に 2～3 ヶ月に 1 回草刈りをしています。
◆参加者名、団体名：みどりのまちづくりグループ ◆主な観測地点：庄内川水系・大谷川（大谷川源流） ・　ゴミはなく、水辺にも多くの植物 ・　大きなアベマキの木陰で調査 ◆主な観測地点：庄内川水系・内津川（泉橋（大谷、内津川合流)） ・　水辺にはハグロトンボ、川の上には多くのウスバキトンボ ・　川面、水際にもゴミ ・　泉橋の下で調査 ◆主な観測地点：庄内川（上条河畔） ・　ゴミはなく、水辺にも多くの植物 ・　川面に多くのアメンボ、川の中には小さい魚、岸辺には種々の昆虫 ・　河畔林のヤナギの木陰で調査

◆参加者名、団体名：やすらぎくんネット ◆主な観測地点：鈴鹿川（亀山橋上流　50m） ・　同じ日に予定されて参加するつもりだった「川の生き物水質調査」が、前日に続いて「三重県下高温注意情報」が発令されたために中止されました。 　このため判断に迷ったが、参加可能なメンバーが少人数になったが集合して、前年と同様の方法でモニタリングを行った。 ・　陽陰（ひかげ）に置いた温度計が太陽の移動に気付かないうちに陽当たりになっていて、44℃を指して驚いた。 ・　豪雨や高温が続く異常な気象のため、川の環境が例年と違って感じられましたが、えさの関係のあったのか魚の種類も数多く見られて、鈴鹿川上流域では豊かな自然が守られているように感じた。
◆参加者名、団体名：矢田・庄内川をきれいにする会 ◆主な観測地点：庄内川（松川橋） ・　劇物指定された物質が含まれていないキット（ＣＯＤ以外）試薬は今後も使用できるのではないでしょうか。
◆参加者名、団体名：養老町生活と環境を考える会 ◆主な観測地点：牧田川（左岸 15.2km の表示あり） ・　晴天続きでいつもの調査地点に水がまったくなく 2km 程上流で調査しました。水温が高く水中の生き物はまったくみられませんでした。 ・　今後も伊勢湾再生の取り組みを進めて行く為モニタリングの活動と地域への広報活動をしていきます。 ◆主な観測地点：小畑川（小畑橋 300m 上左岸） ・　水中にゴミが川底一面にありました。又、水草、よしなどの間に発砲スチロール、プラスチックごみがありました。 ・　川上を新幹線道路あり、又 7 月 7 日以降雨が降っていない為かゴミが目についた。 　地域での広報活動を今後もしていきたいです。

◆参加者名、団体名：四つ葉会 ◆主な観測地点：東川（池田小学校） ・　猛暑日だったが、少し前に雨が降ったので、水量はやや多かった。こんなにじっくりとは眺めないが、だんだんゴミが少なくなった感じがする。 ・　朝・晩はこの岸辺を散歩する人も多くいい川です。 ◆主な観測地点：中川（池田町八幡広海橋北） ・　今回は試薬がなかったが、目視でも川の状態はかなり分かるものだと感じた。栄養豊富でみどりがかっていて、生き物も多い。 ・　身近な川でもじっくり視ると発見があり楽しい。 ◆主な観測地点：杭瀬川（八幡小学校北） ・　池田川の谷水が流れ込む川で、流域は下水も完備しているからか、毎年きれいです。 ・　湧水がところどころに出ているせいか、水温も少し低い。 ・　数年前に「生きもの調査」をして豊かな川である事を実感しています。
◆参加者名、団体名：レッ津！夢みなとプラン推進協議会 ◆主な観測地点：岩田川河口 ・　昨年までは、調査キットを使用し、薬品を使用して水質を測定していたため、数値として確認することができたが、今回から視覚的な調査となったため、測定基準が主観的なものとなっている可能性があります。 しかしながら、このような調査を実施することは、自然環境の保全意識を高めるためにとても大切なことであると思いますので、継続的な取組が大切であると感じます。

◆参加者名、団体名：論田川を美しくする会

◆主な観測地点：論田川（No1）

・　3 月のパックテストはあまり水質調査には変化はないが、今回の夏の調査 15 日も雨が少ない。水面全体に（ひどく水ワタ）が多く、論田川一面に発生し、とても見られる物ではなく、何が原因なのかよく調べる事です。酸素不足かも。

◆主な観測地点：論田川（No2）

・　論田川も今迄にないヘドロの多さ、水綿、藻の多さ、本当にひどい。当分雨も降らなくとても生き物には環境に悪く、夏休みの間に子供達と一緒にカワゲラウォッチングを開催予定でしたがやむを得ず中止にしました。

◆主な観測地点：論田川（No3）

・　今年の夏は川にとっては最悪な年で猛暑続き 2 週間程続いてヘドロ､水ワタが発生している。生き物すべて死に絶えて酸素不足が原因にて早く雨がほしい…

◆主な観測地点：論田川（No1～3）

・　論田川は農業用水の供給源で有り、田へ配水施設を設け、田へ配水した。昭和 50 年代の頃は子供達にとって格好の水遊び場で有り、魚釣りが出来、カワゲラウォッチングなど又ホタルなど生息している川であって、それだけ汚染されていない清流でありました。論田川の水質が急速に悪化していたのは高度成長期、工場廃水など各家庭から出る排水による洗剤などによるのも一つに原因による。川底に汚泥が堆積し悪臭を放つ「死の川」と化しまさに瀕死の状態にまで達していた。論田川の汚泥については子供達の事故も心配し、市に対して危険がない様に要望し問題の解決を論田川に流のある川へ戻すことで、工場や家庭から出る排水を分離する事で、現在の川は井戸をくみ上げた水を論田川へ一定の量を保ち現在に至っている。

　このような行政による環境整備事業のほか、各自治会や学校、団体でも定期的に清掃活動を行って川の環境維持に努めています。

◆参加者名、団体名：渡し場かもめ会

◆主な観測地点：衣浦港

・　水質セットによる調査は劇物指定の連絡いただいていたが、たまたま今回分までの在庫があったため実施した。

　今まで継続し対比してきた水質が今後比較評価出来なくなり残念。

　今までの調査セットに代わるものがあれば支給いただけるとありがたい。

◆参加者名、団体名：小塩通信株式会社

◆主な観測地点：長良川左岸（鏡島大橋下）

・　平成 22 年度より参加させて頂いております。

　今年度は、例年にない暑さで水質調査とゴミ拾いで汗だくになりました。継続して参加していきますので、ご担当される方も引き続き頑張っていきましょう。有難うございました。

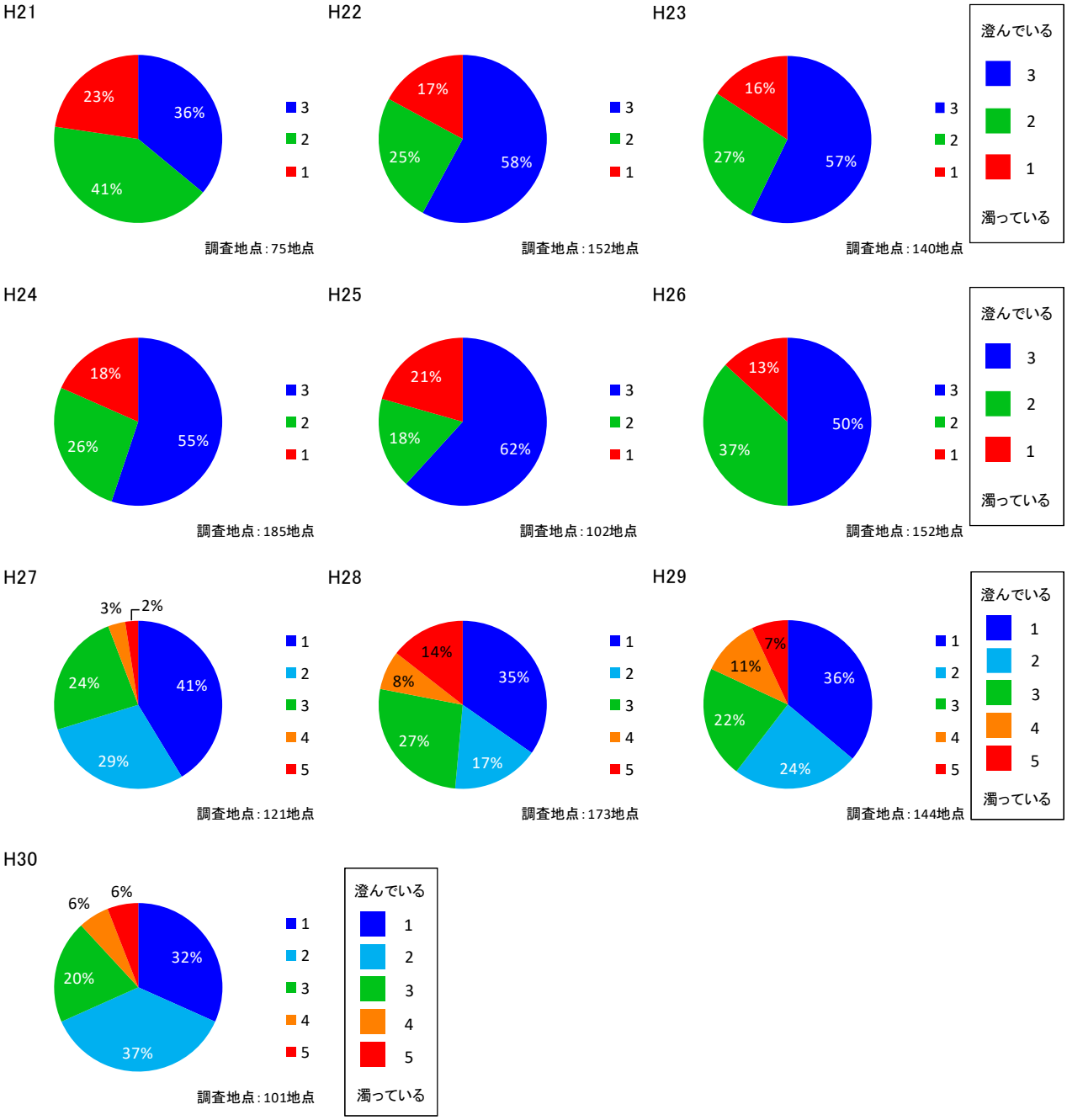
◆参加者名、団体名：東芝プラントシステム株式会社 ◆主な観測地点：庄内川（放水路付近、新名西橋付近） ・　平成 27 年度から参加させていただいております。今年で 4 回目の参加になりますが、毎年「伊勢湾流域圏一斉モニタリング」確定版を楽しみにしております。 ・　普段から庄内川アダプト活動通して河川を守ることの重要性を感じていましたが、一斉モニタリングを通して河川と海の繋がりをあらためて感じます。自分たちにできることはわずかではありますが、多くの方々が参加され、収集したデータが伊勢湾流域圏の再生に寄与することを願っています。
◆参加者名、団体名：四日市市山手中学校　理科部 ◆主な観測地点：海蔵川（パークブリッジ） ・　海蔵川の中流～下流～河口には、ややきれいな水～とても汚い水の生物がいて河口のほうはきれいなほうだったけど、中流～下流は、汚い水だったので、中流～下流の水質をもっときれいにしていったほうがいいと思った。中流～下流をもっときれいにしたら、河口のほうももっときれいになると思った。 ・　汽水域ではシジミやカニが取れてややきれいな水なので同じ川でもこんなに違いが出ると感じました。 ・　河口にゴミがたくさんあった。⇒上流からながれてきたと思うので誰かが捨てたものがたくさんあるとはモニタリングをするまで思わなかった。

5. 一斉モニタリング経年調査結果のまとめ

平成 21 年度から行われている一斉モニタリング調査結果の経年的な変化を整理しました。

(1) 水のきれいさ

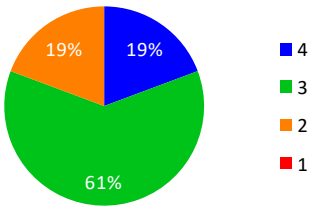
平成 29 年度と比較すると平成 30 年度は、澄んでいる（1,2,青色、水色）の割合が増えています。



(2) 水量

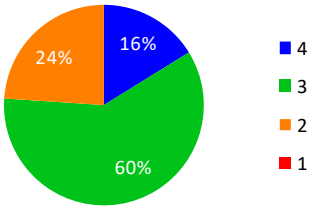
平成 29 年度と比較すると、平成 30 年度の水量が多いの回答（1 青色）の割合は減少し、(2 水色）の割合が増加しています。

H21



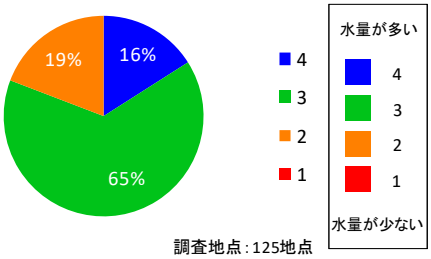
調査地点：57地点

H22



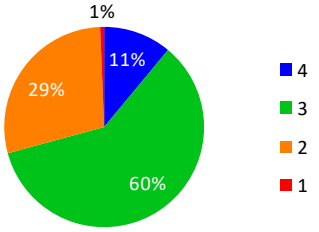
調査地点：142地点

H23



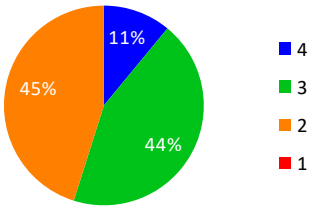
調査地点：125地点

H24



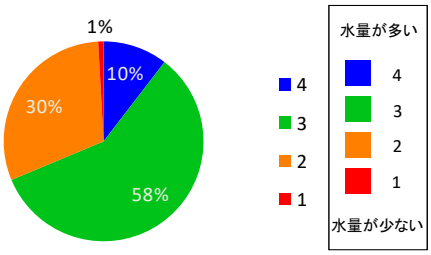
調査地点：154地点

H25



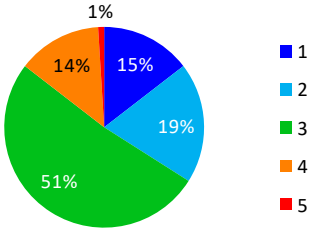
調査地点：82地点

H26



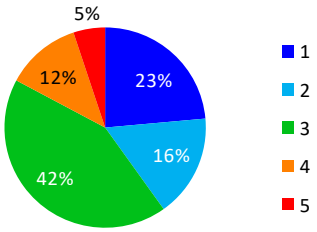
調査地点：115地点

H27



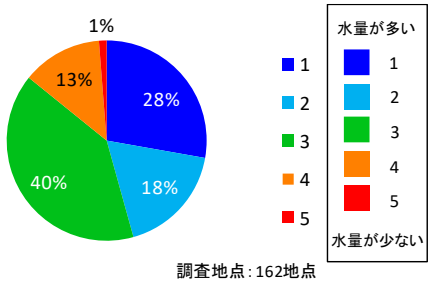
調査地点：103地点

H28



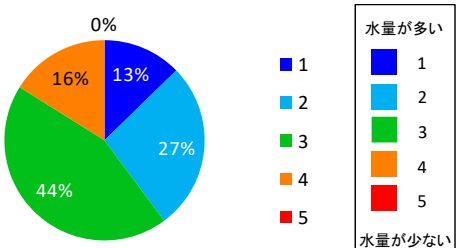
調査地点：158地点

H29



調査地点：162地点

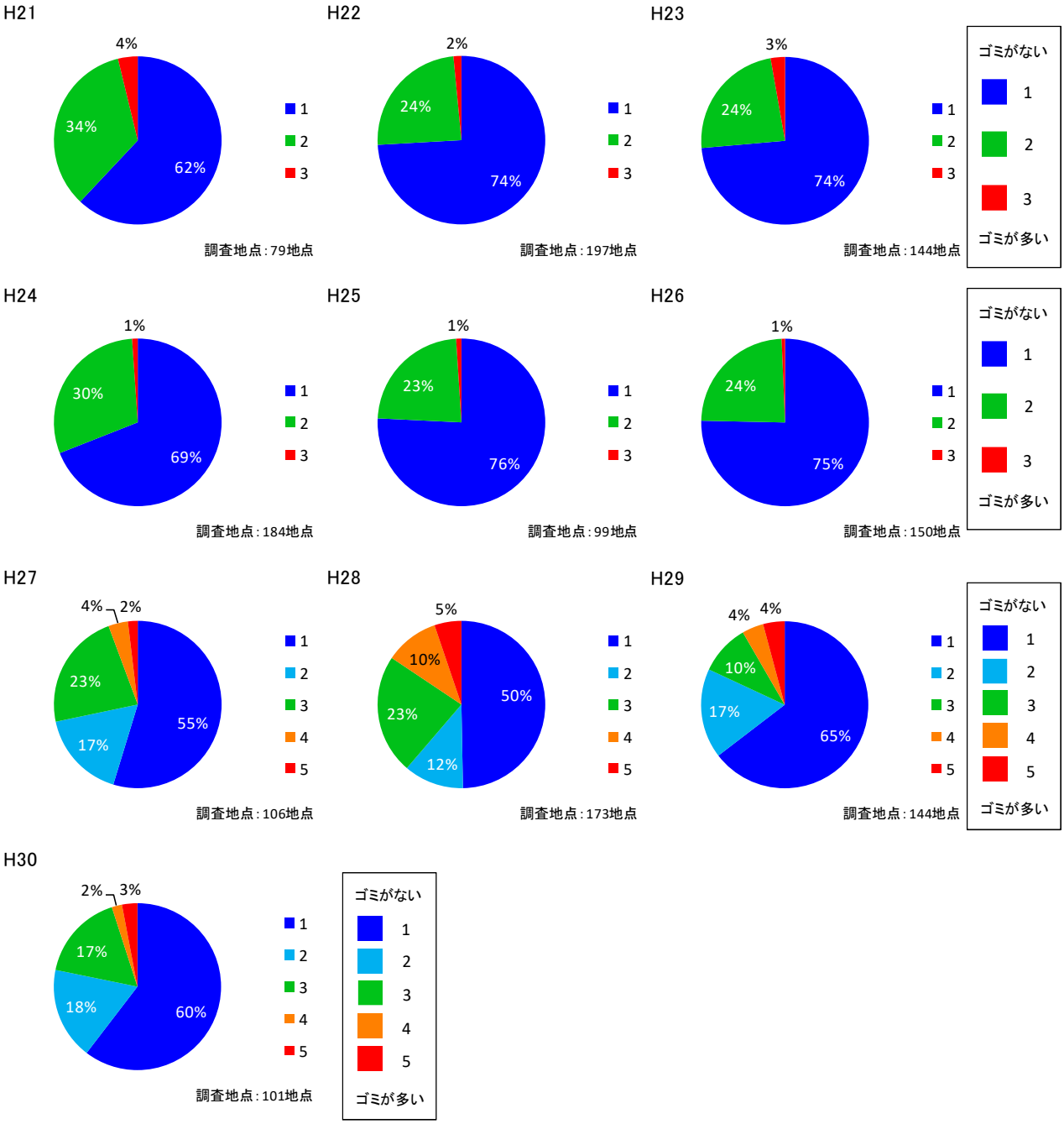
H30



調査地点：118地点

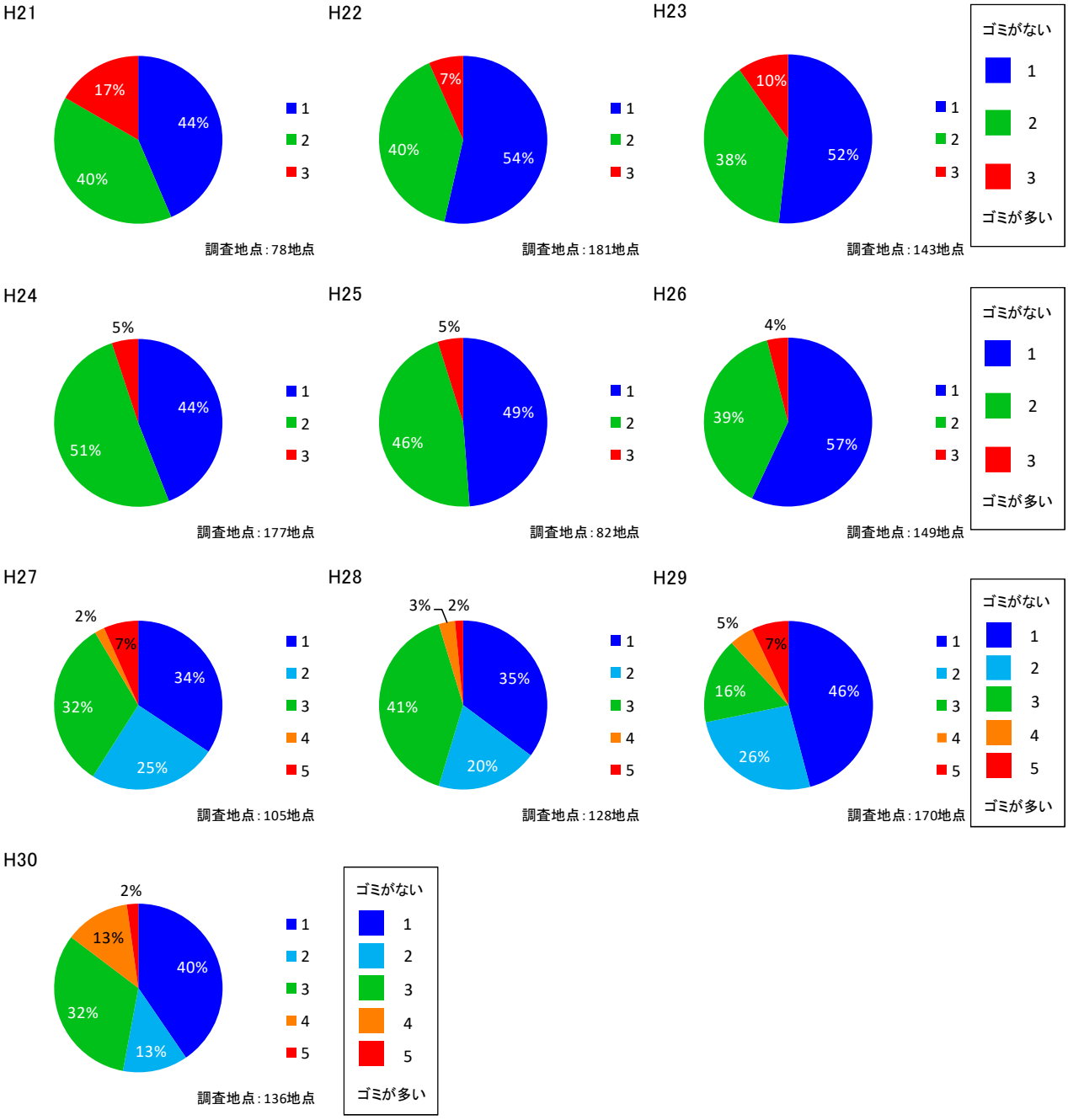
(3) ゴミ状況（水面）

平成 29 年度と比較すると、平成 30 年度は（3 緑色）の割合が若干増加しましたが、全体としては概ね昨年と同様の割合となっています。



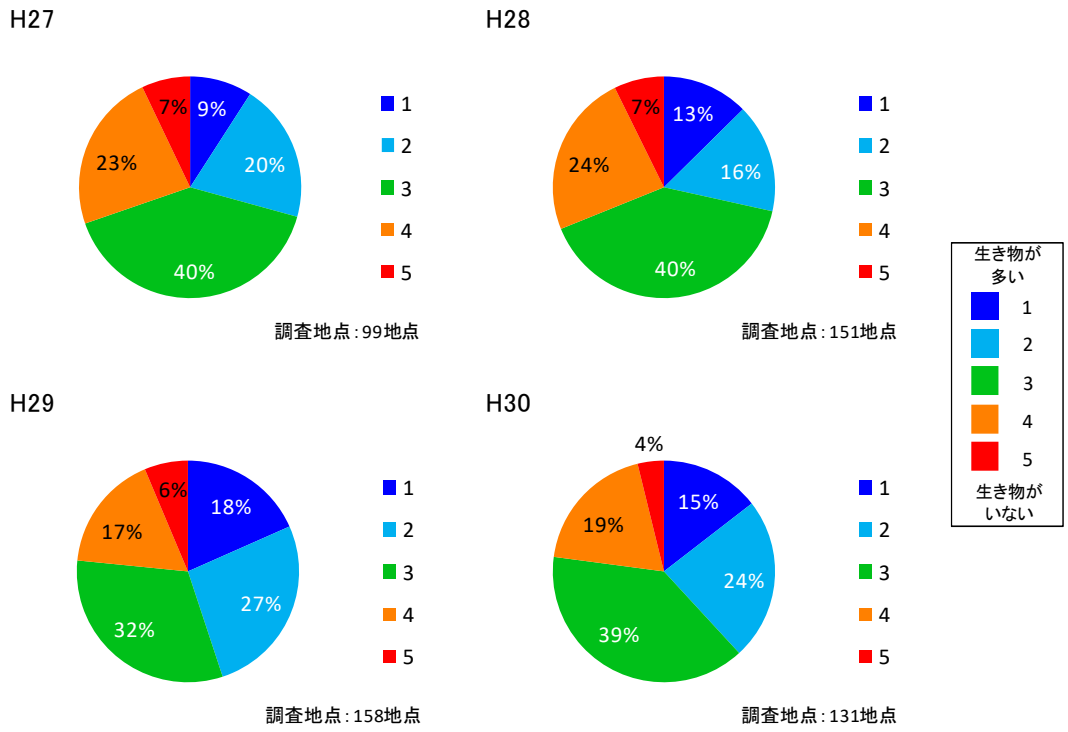
(4) ゴミ状況（周辺）

平成 29 年度と比較すると、平成 30 年度はゴミがない（1,2,青色、水色）の割合が減少しています。



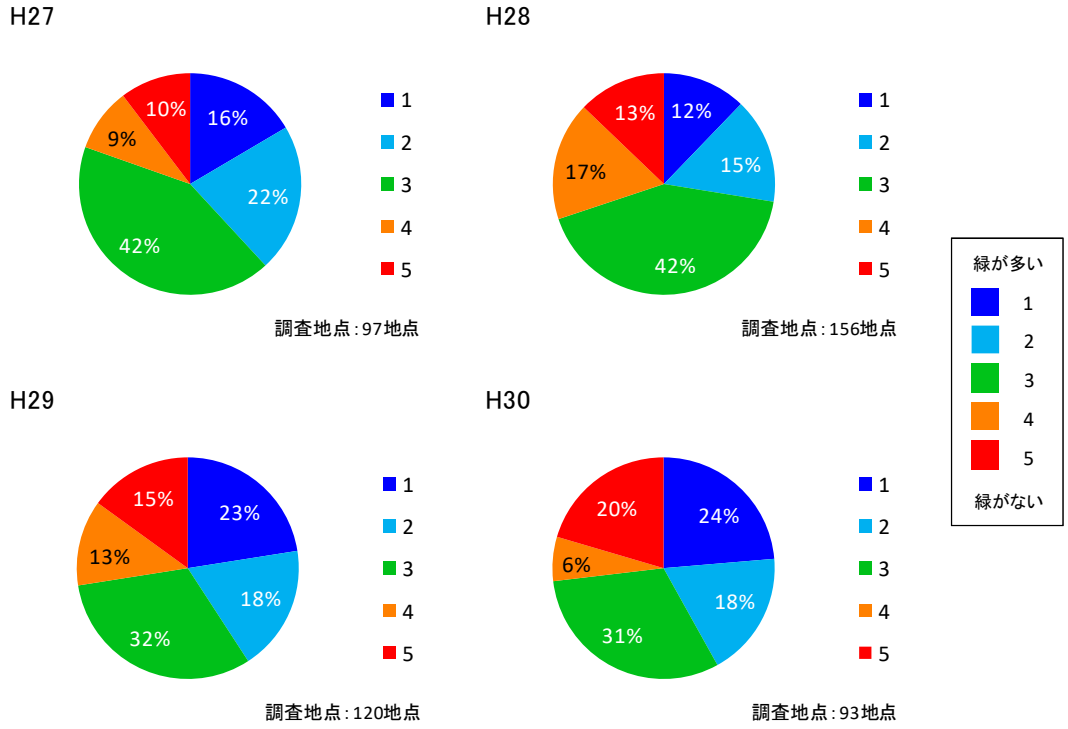
(5) 生物

平成 29 年度と比べると（3 緑色）の割合が若干増加していますが、全体的には概ね平年並みとなっています。



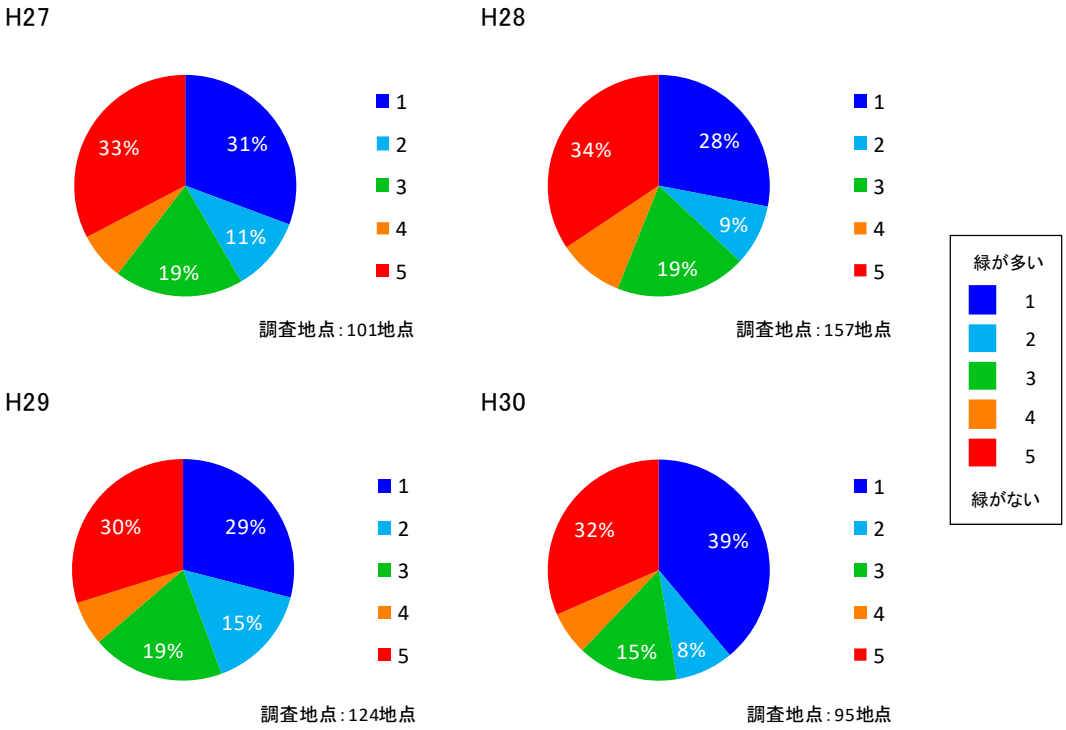
(6) 植物（周辺）

平成 30 年度の（1,2,3 青色、水色、緑色）の割合はほぼ昨年と同様となっています。



(7) 植物（水際）

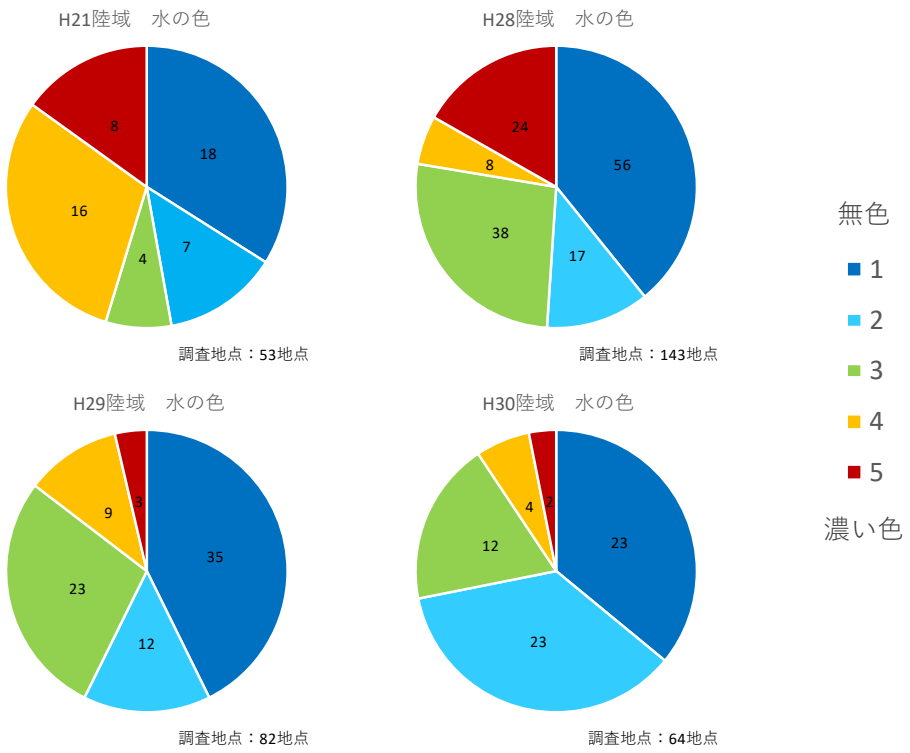
平成 30 年度は、平成 27 年度からの調査のなかで緑が多い（1 青色）の割合が最も高くなっています。



(8) 水の色の平成 21 年度、平成 29 年度および平成 30 年度の比較

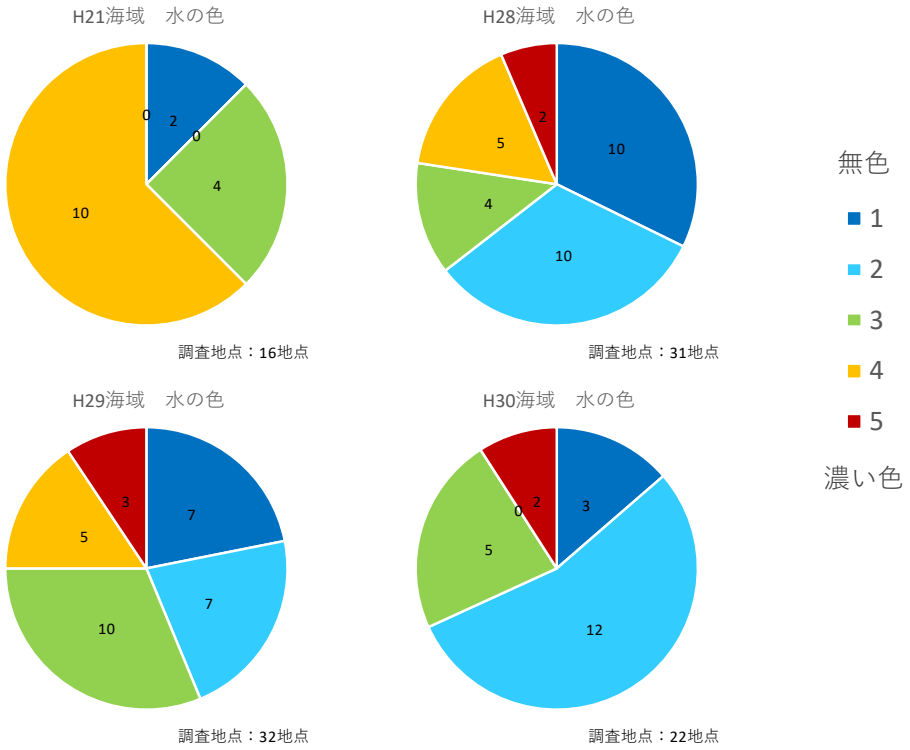
① 陸域の水の色（数字は回答数）

平成 30 年度には、無色寄りの水の色の回答数（1, 2, 青、水色）が増加し陸域の水の色が改善傾向であると考えられます。



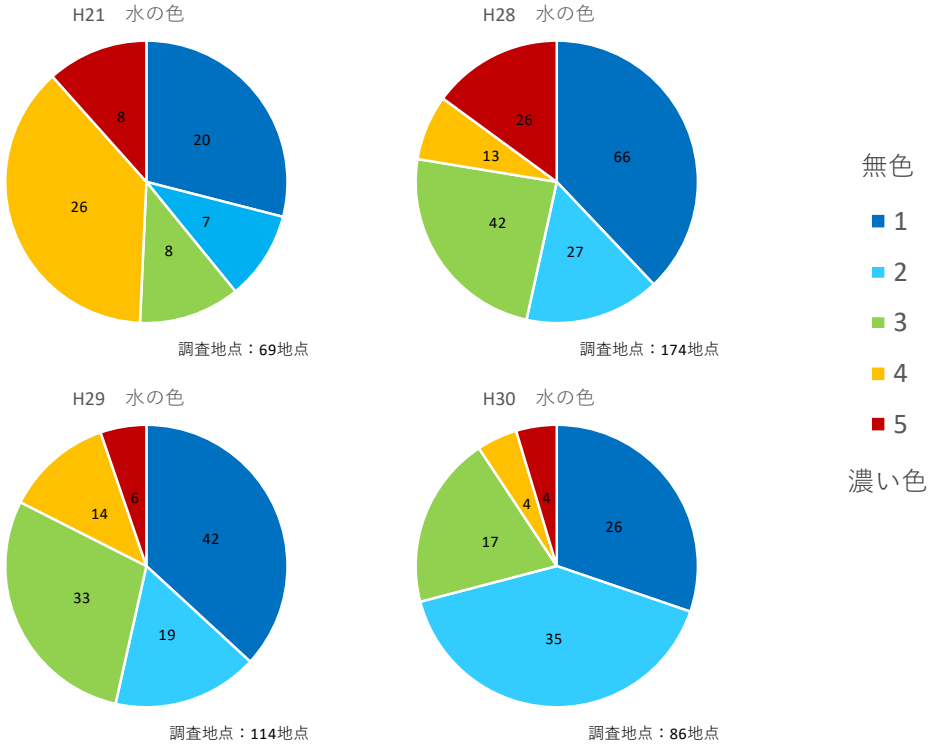
② 海域の水の色（数字は回答数）

平成 30 年度には（2 水色）の回答数の割合が大幅に増加しています。



③　流域全体の水の色の割合の変化（数字は回答数）

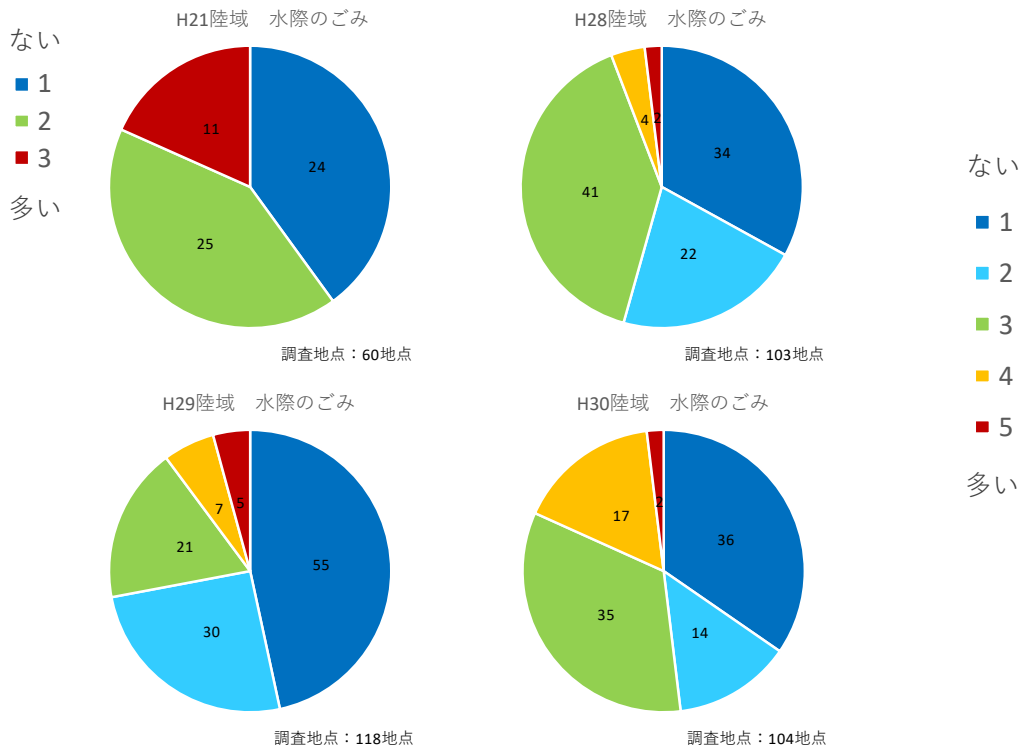
流域全体では、平成 29 年度と比較して平成 30 年度は無色に近い水の色の回答（1, 2, 青、水色）の回答数の割合が増加しています。



(9) 水際のごみの平成 21 年度、平成 29 年度および平成 30 年度の比較

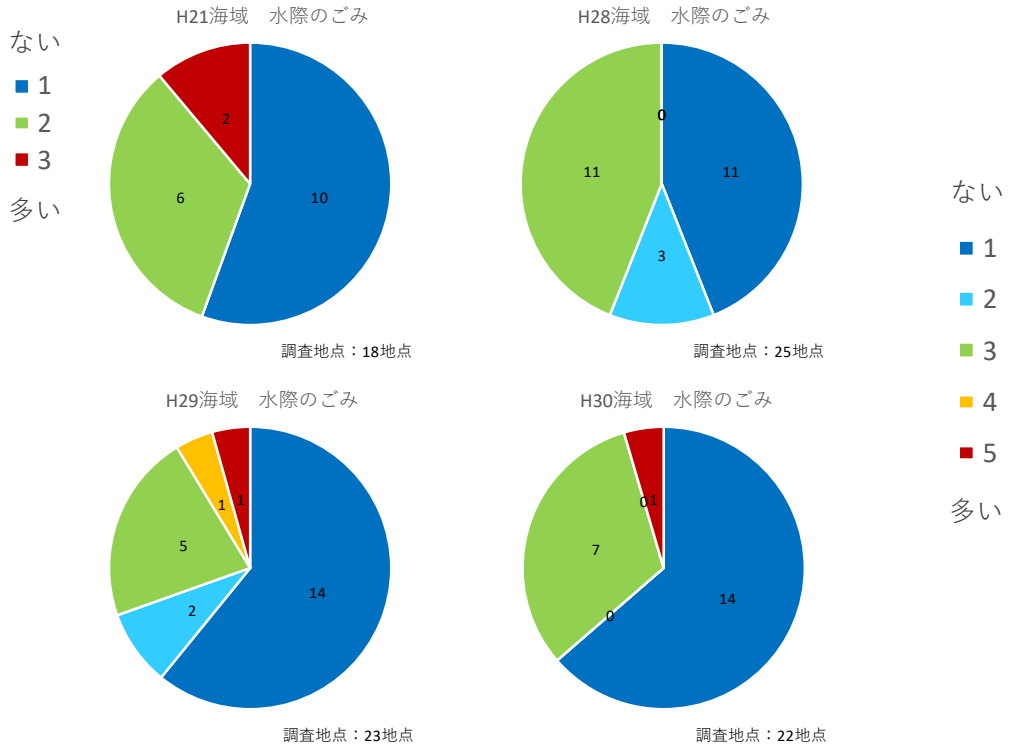
① 陸域の水際のごみ（数字は回答数）

平成 29 年度と比較すると、平成 30 年度はゴミがないの回答（1, 2, 青、水色）数の割合が若干減少しています。



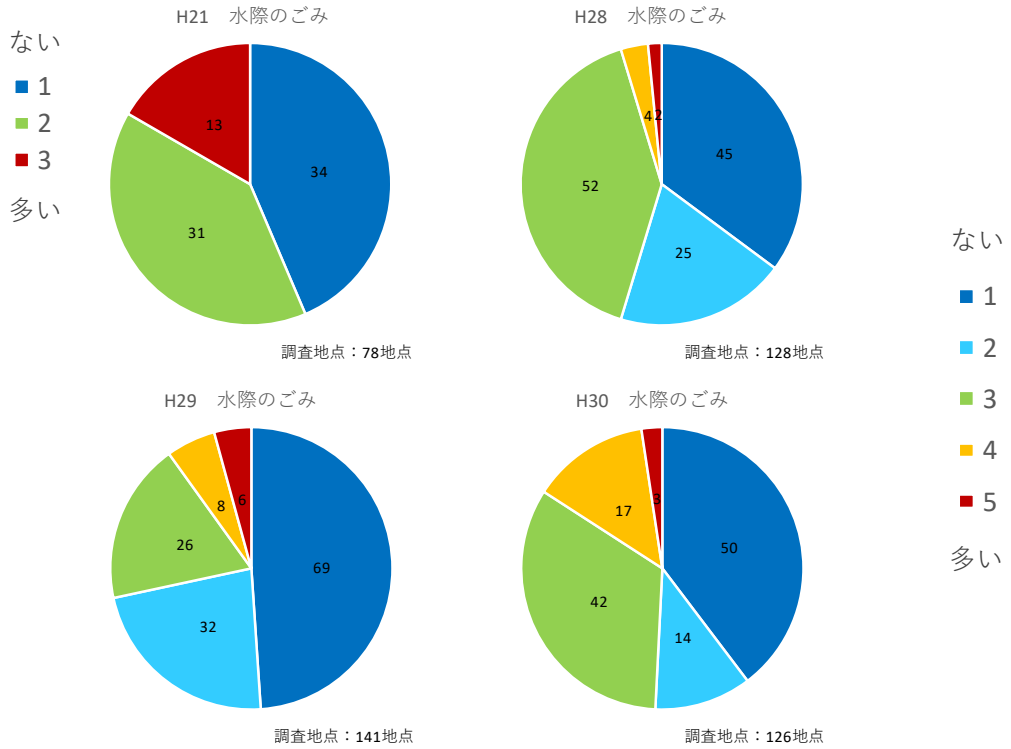
② 海域の水際のごみ（数字は回答数）

平成 30 年度は、ごみがないの回答（1 青色）もしくは、(3 緑色)の回答数が主となっています。



③ 流域全体の水際のごみの割合の変化（数字は回答数）

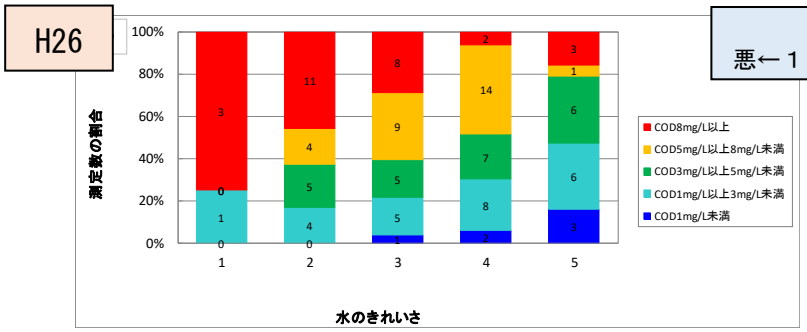
流域全体では、平成 29 年度と比較して平成 30 年度はごみがないの回答（1, 2, 青色、水色）数は若干減少しています。

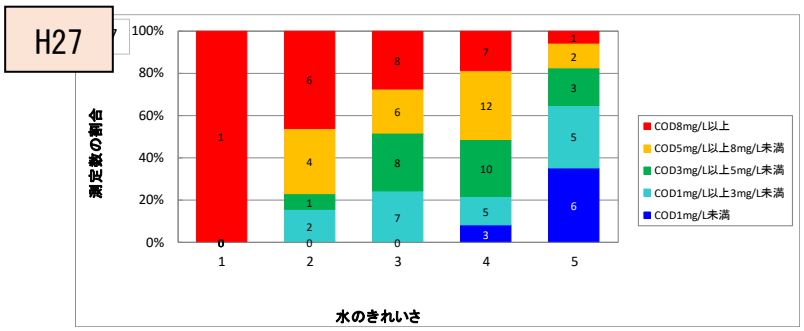


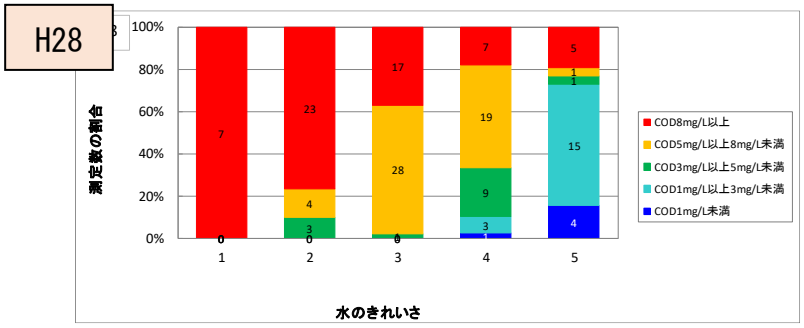
(10) 平成 26 年度～平成 30 年度の見た目の水のきれいさと COD の関係

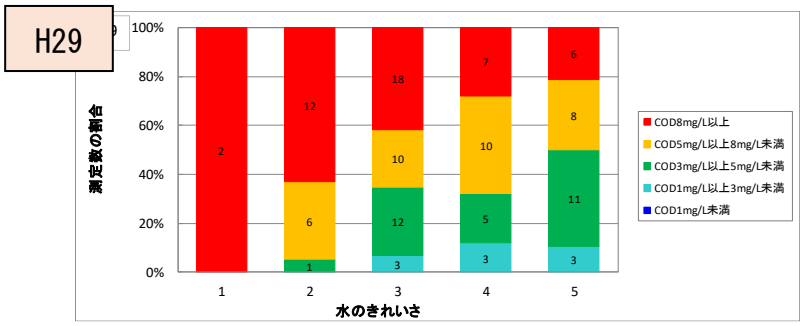
平成 30 年度の調査では調査数が少なかったため、はっきりとした傾向がみられませんが、見た目の水きれいさと COD の値には相関があると考えられます。

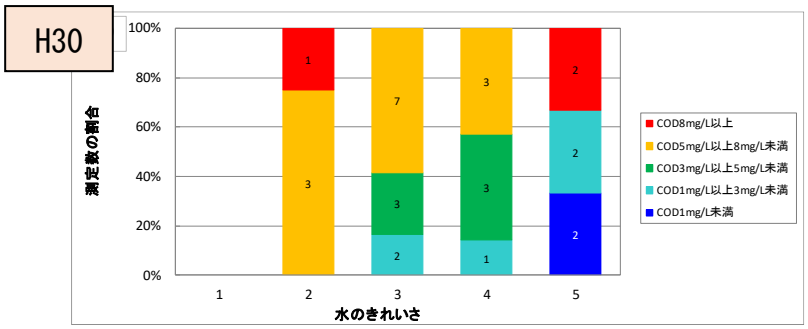
水のきれいさ
悪←１・２・３・４・５→良











(11) 定点モニタリングの結果

地点により値の大小はありますが、定点モニタリングにより身近な河川や海辺等で経年的に水質調査を行い、水質の変動を観測していくことが大切だと考えられます。

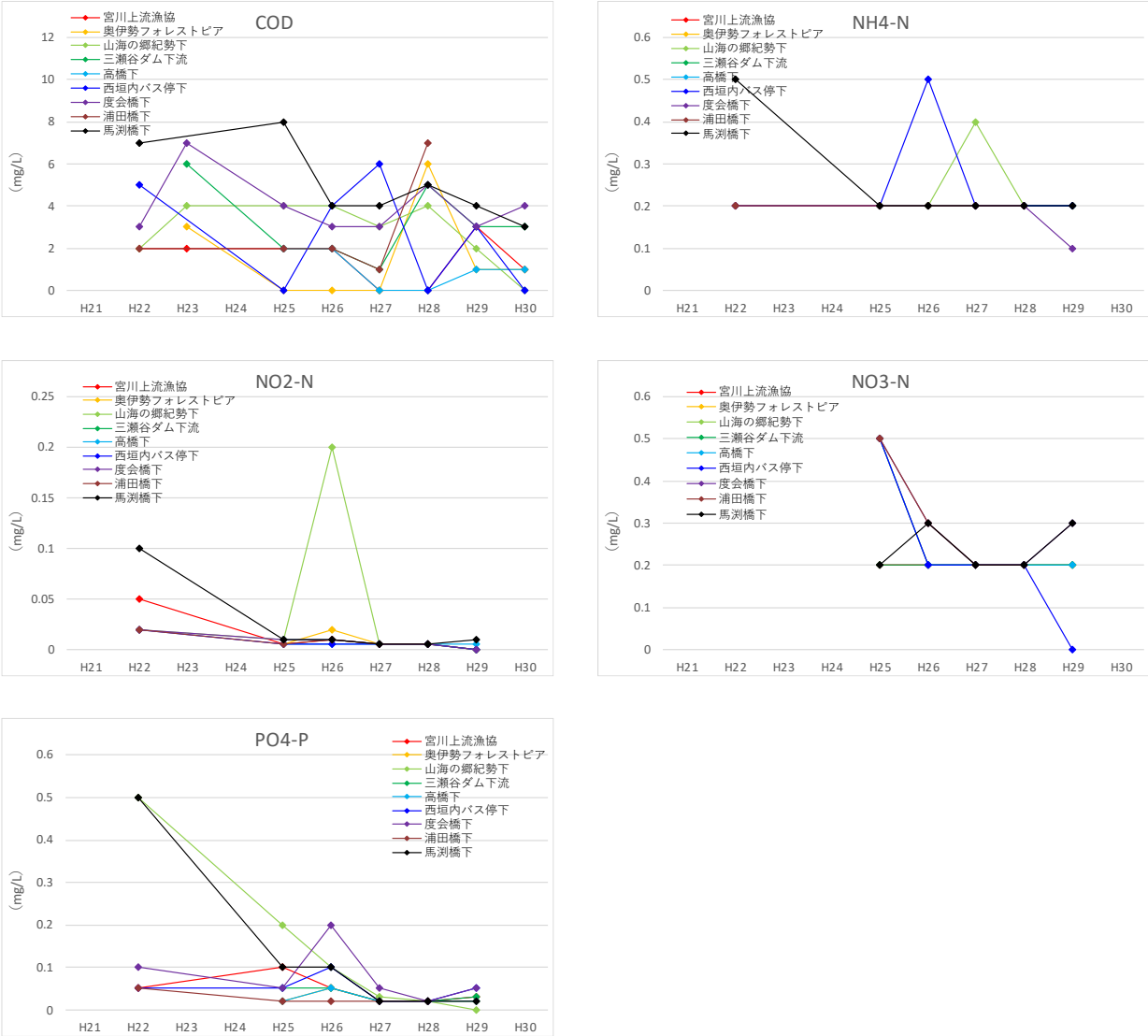
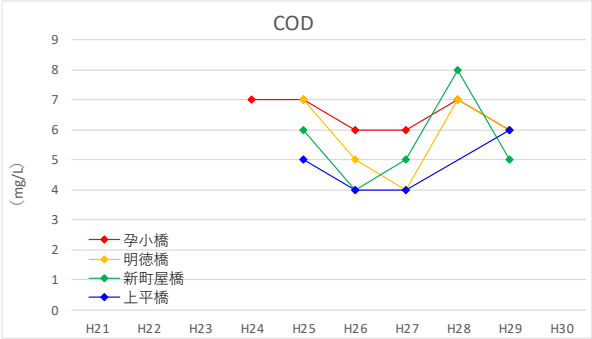
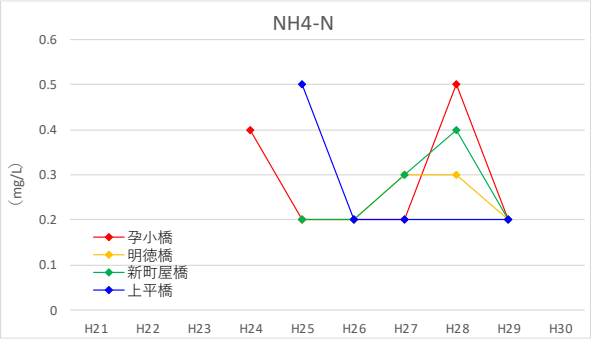
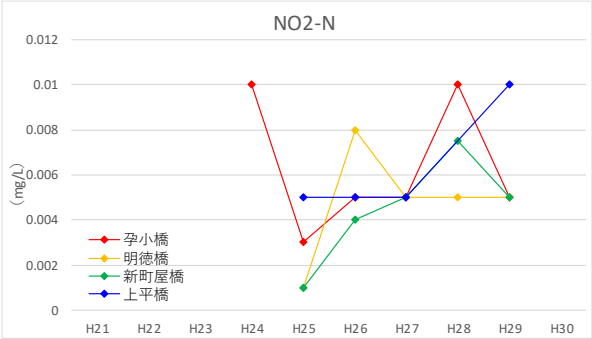
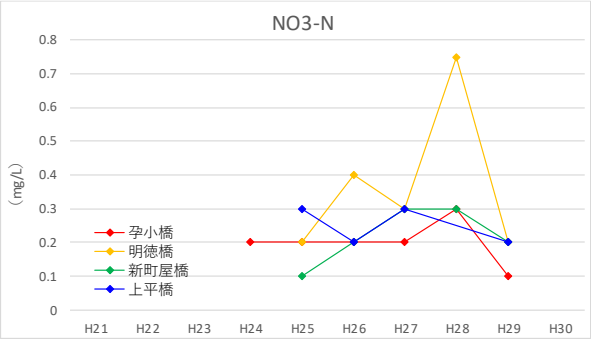


図 5.1 伊勢市周辺の調査結果









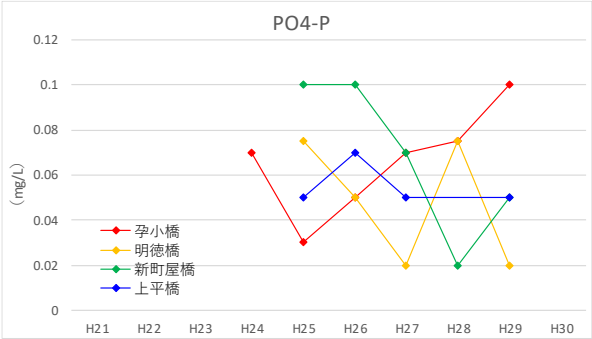
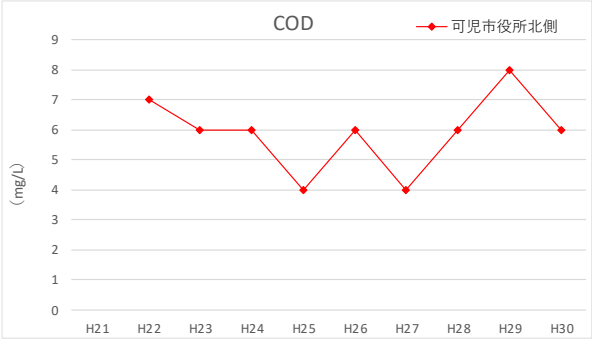
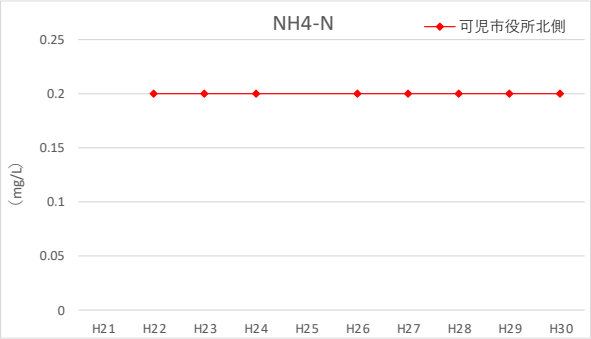
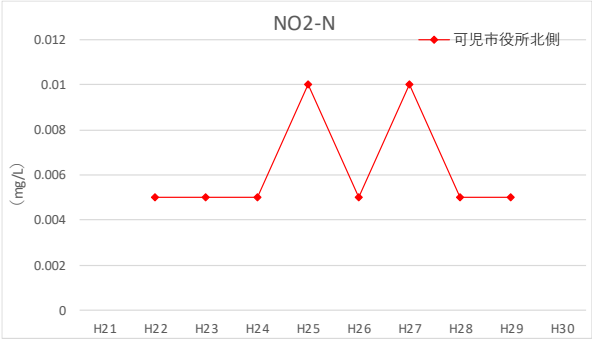
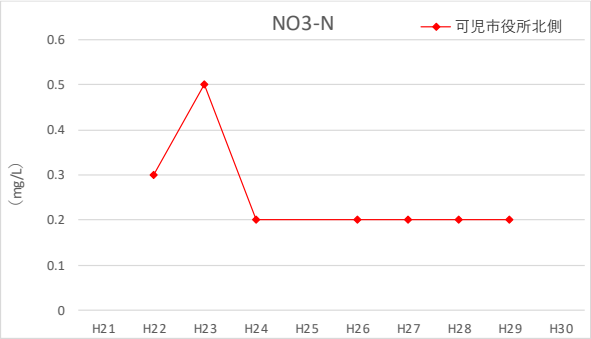


図 5.2 瑞浪市周辺の調査結果









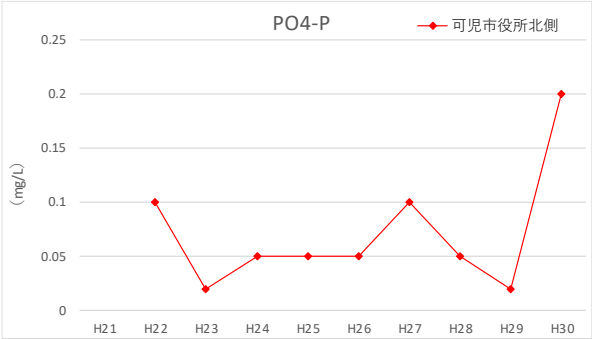
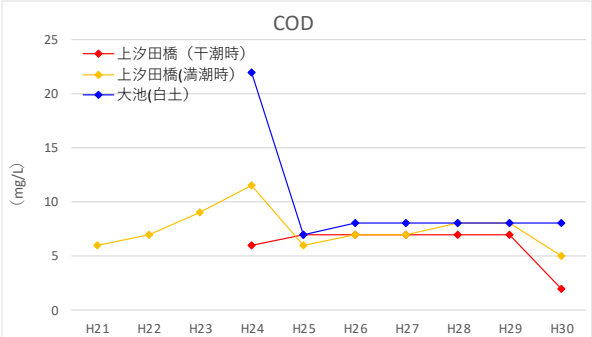
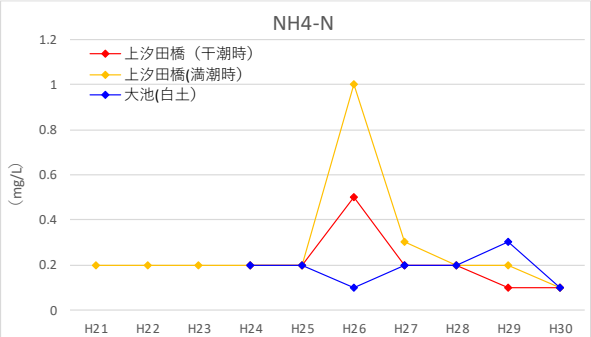
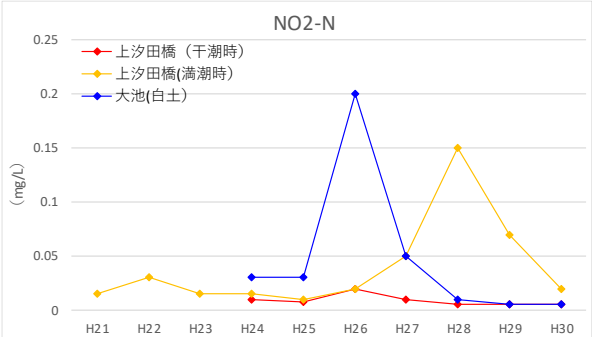
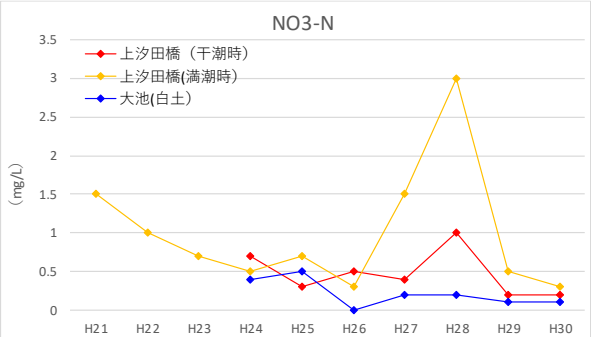


図 5.3 可児市周辺の調査結果









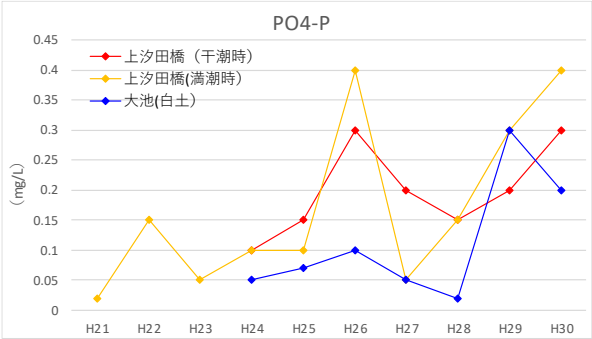
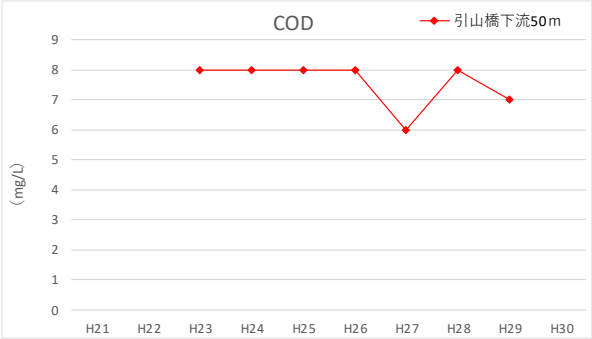
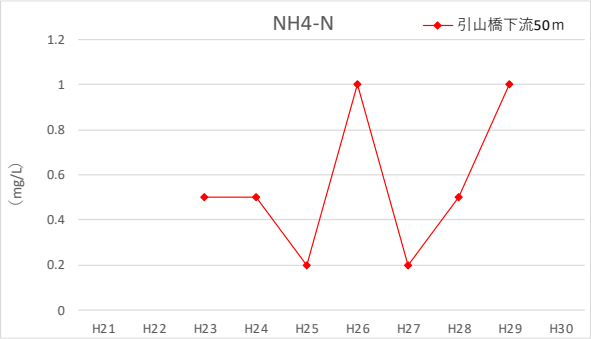
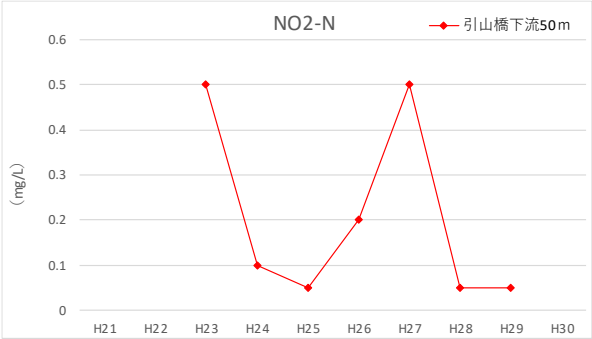
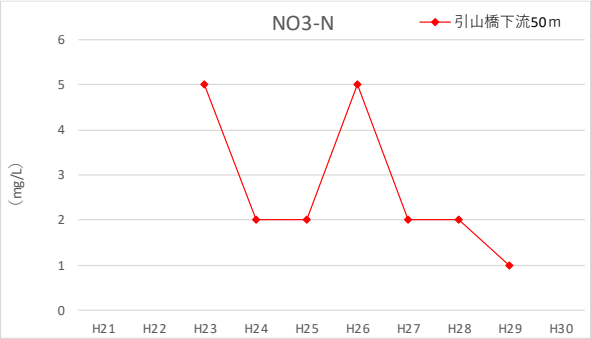


図 5.4 名古屋市周辺の調査結果









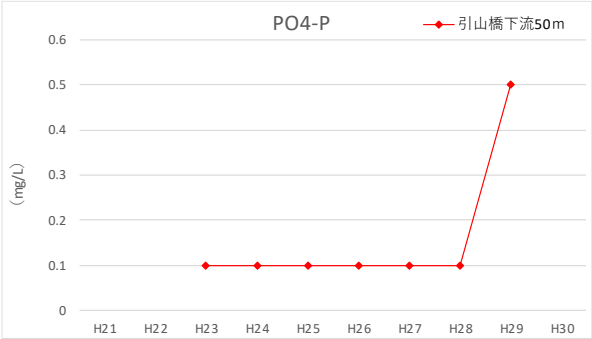
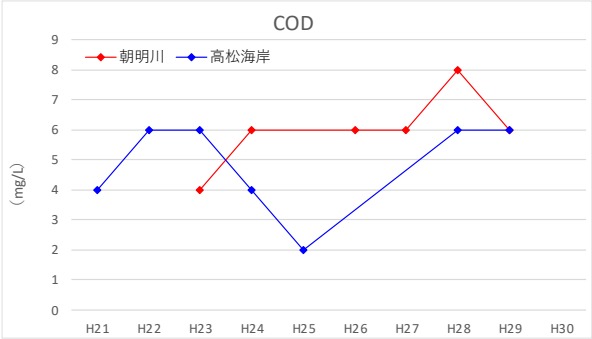
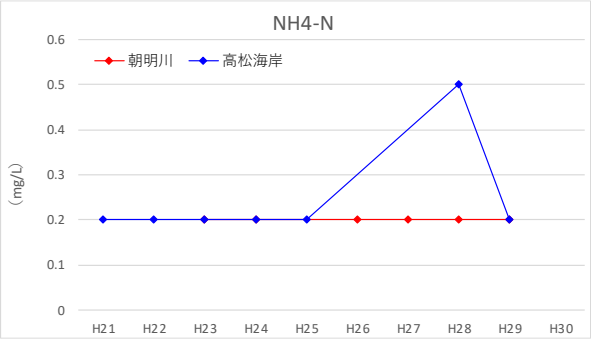
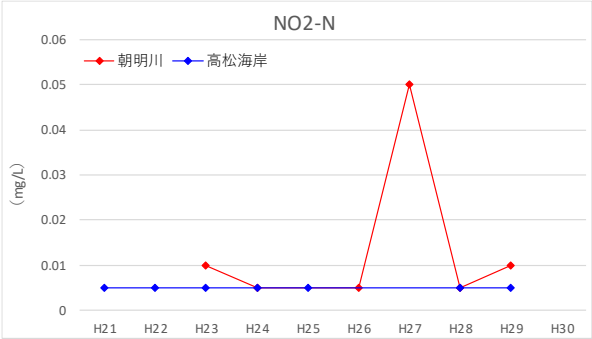
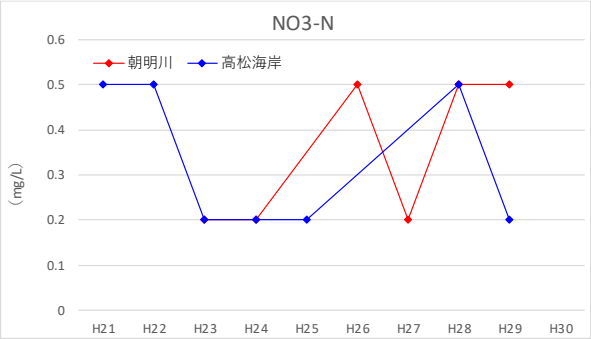


図 5.5 名古屋市周辺の調査結果









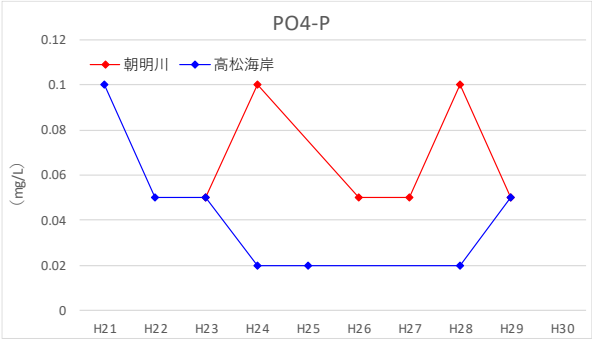
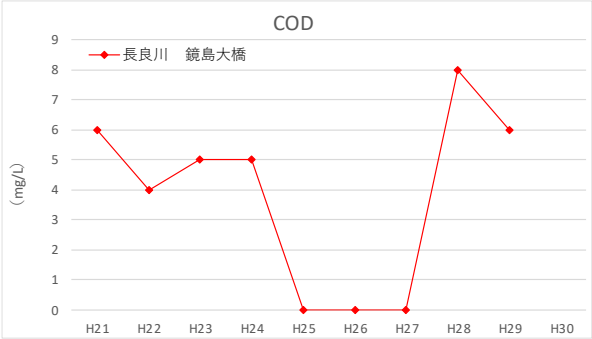
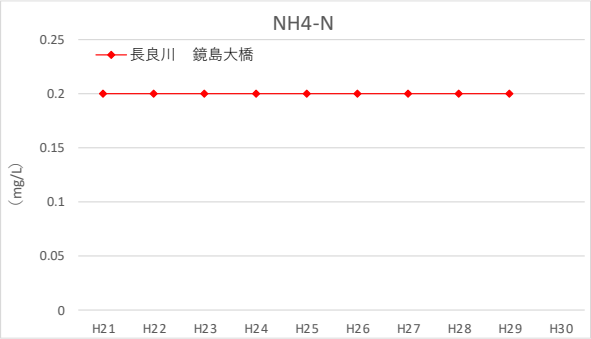
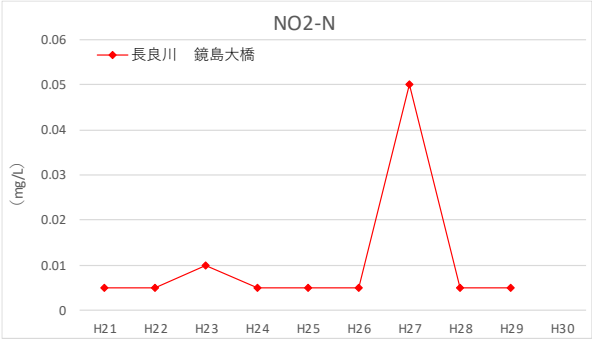
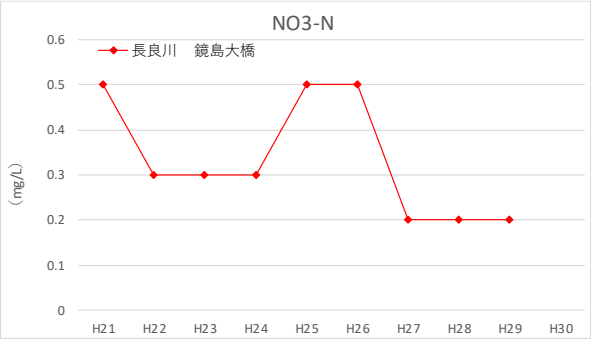


図 5.6 岐阜市周辺の調査結果









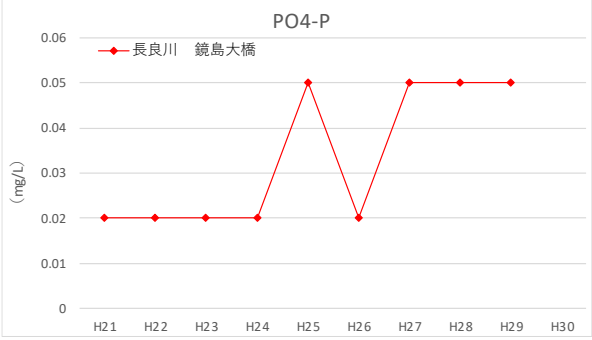
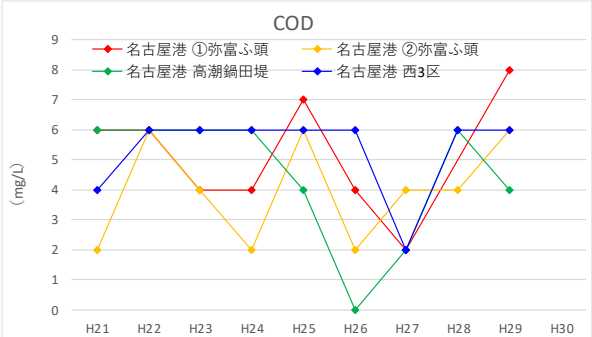
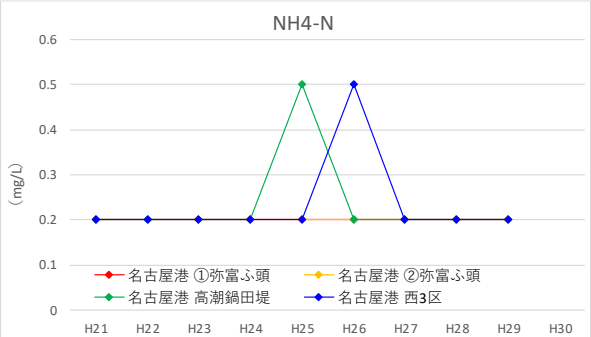
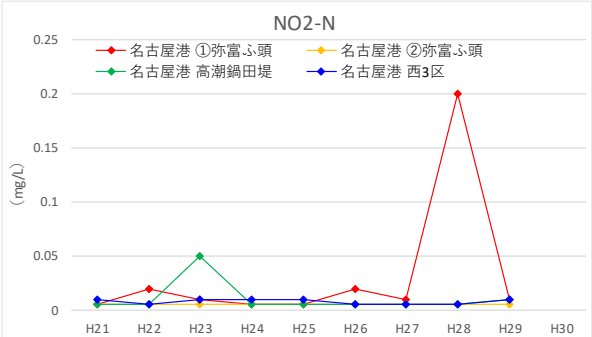
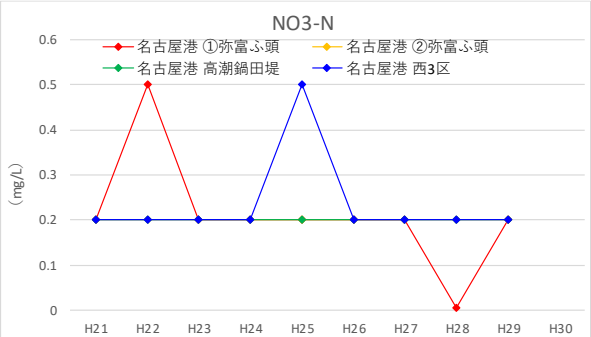


図 5.7　三重郡川越町周辺の調査結果









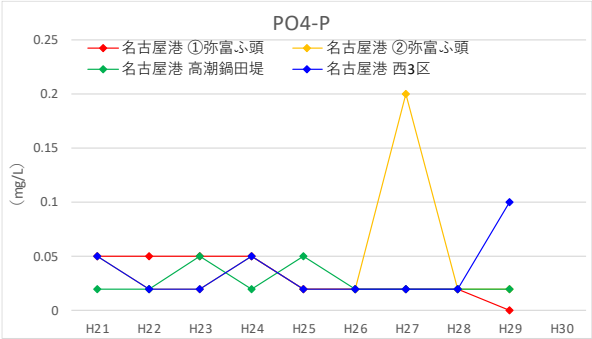
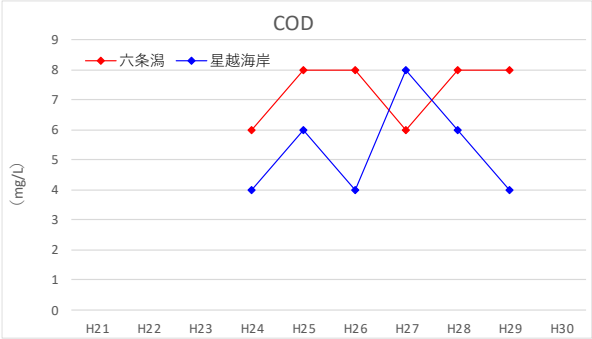
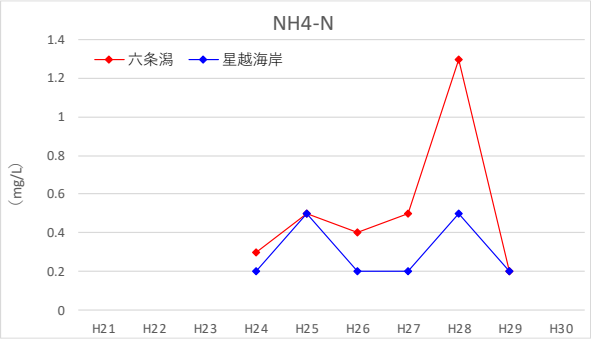
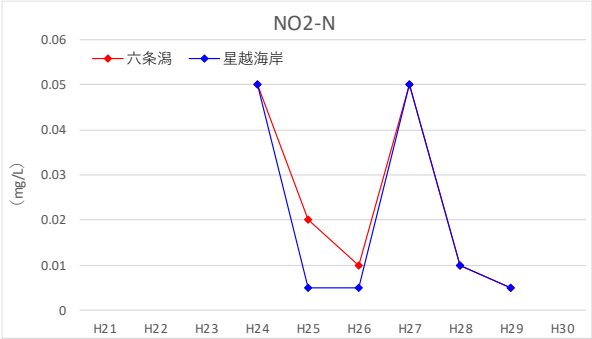
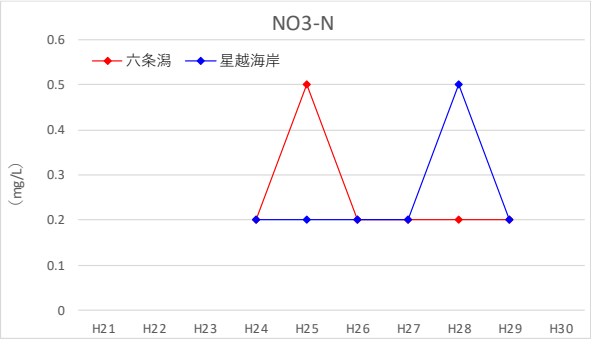


図 5.8 弥富市周辺の調査結果









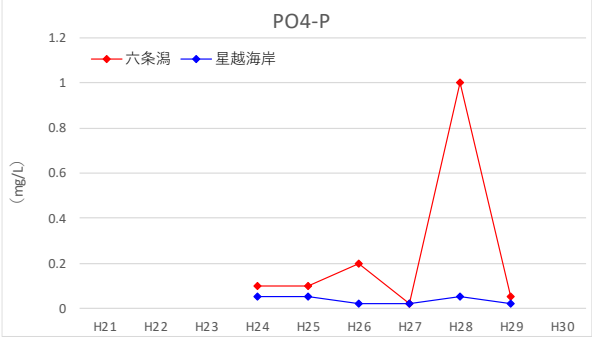


図 5.9 豊橋市周辺の調査結果